

広島大学図書館年次報告
2022（令和4）年度

1. 自己点検・評価		4. 社会貢献	
1-1.資料の整備と活用	p.2	4-1.学外者の利用	p.34
1-2.施設・設備の整備	p.2	4-2.デジタルアーカイブ	p.34
1-3.職員の配置と活用	p.2	4-3.地域・国際交流プラザ	p.35
1-4.利用者からの意見聴取	p.2	4.4.講演会	p.35
2. 学習／学修支援		5. 管理運営等	
2-1.図書館資料の整備	p.4	5-1.組織運営	p.36
2-2.図書館資料の活用	p.10	5-2.図書館運営会議	p.36
2-3.図書館資料の効果的利用	p.13	5-3.予算決算	p.37
2-4.図書館施設の整備	p.19	5-4.広島大学図書館活動助成金	p.37
2-5.図書館施設の活用	p.21	5-5.職員数	p.38
2-6.図書館の活用を促す取り組み	p.23	5-6.施設設備	p.39
		5-7.他の図書館等との連携	p.39
3. 研究支援		6. その他	
3-1.電子的学術情報資料の整備	p.27	6-1.2022年度の主な動き	p.40
3-2.電子的学術情報資料の活用	p.29	6-2.理念と目標	p.43
3-3.学術情報リポジトリ	p.29	6-3.歴代図書館長	p.45
3-4.広島大学出版会	p.31	6-4.沿革（抄）	p.46
3-5.ライティングセンター	p.31		

2023年10月
広島大学図書館

1. 自己点検・評価

1-1.資料の整備と活用

340万冊を超える蔵書の他、多くの雑誌・電子ジャーナル・データベース・電子書籍が整備され、有効に活用されている。

資料購入費は年々減少しており、購入できる資料の冊数も減少傾向にあるが、教員、学生の要望をできるだけ蔵書構成に反映させるべく予算が配分されている。

資料の貸出冊数は減少傾向にあるが、学生希望として購入された図書は、よく利用されている。これからも利用者の要望を蔵書構成に適切に反映させるとともに、学生の多様な学問分野への興味・関心を喚起できるよう、バランスの取れた蔵書構築を進めていきたい。

1-2.施設・設備の整備

図書館は3キャンパスに5館整備されており、延床面積は27,892㎡である。閲覧席・グループ学習室・閲覧個室・ラーニングcommons・書庫など大学の多様な学習・教育・研究を支えるために必要なスペースが整備されている。

2022年度は東千田図書館の改修がおこなわれた。この結果、東千田図書館はこれまでの2倍の面積として整備された。法学部の移転とともに関係する資料を東千田図書館に集約したので、今後の活用が期待される。

1-3.職員の配置と活用

東広島キャンパス3館、霞キャンパス1館、東千田キャンパス1館の計5館の図書館を運営するため、それぞれの館の特色に応じて職員を配置し、大学の学習・教育・研究を支える業務をおこなっている。

1-4.利用者からの意見聴取

2023年1月30日から2月28日にかけて図書館利用者を対象としたウェブアンケートをおこなった。また、図書館ウェブサイトでは常に投書を受け付けている。寄せられた意見には適宜対応するとともに業務改善の課題としている。

■資料の整備

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
蔵書冊数（冊）	3,460,673	3,441,829	3,422,814
所蔵雑誌（種類数）	59,366	58,874	58,542
電子ジャーナル（種類数）	21,299	24,923	22,683
（内、出版社）	5,723	7,477	7,416
（内、アグリゲータ）	15,576	17,446	15,267
データベース	44	44	44
電子書籍	7,739	8,437	9,089

※重複資料の整理（除籍）を進めているので、蔵書冊数・所蔵雑誌種類数は減少している。

■資料の活用

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
貸出冊数	143,689	157,929	141,084
電子ジャーナル	1,583,593	1,823,557	1,829,826
データベース	627,055	623,737	733,136
電子書籍	133,946	162,009	174,350

※電子ジャーナルは論文ダウンロード数、データベースは検索数、電子書籍はアクセス数。

■施設の整備と活用

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
平均開館日数	291	242	240	284	285
平均開館時間	3,822	3,004	2,527	3,251	3,590
入館者数	1,129,740	1,023,821	411,322	590,786	607,856

※平均開館日数と平均開館時間は5館の平均。2019年度は東図書館・西図書館・霞図書館の改修があったため、2020年度～2022年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止対応のため減少している。

■職員による図書館利用支援（利用ガイダンス等。オンラインを含む）

	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
開催回数	132	108	47	50	46
延参加者数	6,722	6,883	3,984	3,306	3,359

※2020年度～2022年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止対応のため減少。

2. 学習／学修支援

2-1. 図書館資料の整備

図書館の蔵書数は、2022年度末現在で3,422,814冊であり、その68%にあたる2,343,297冊を5館に分けて収容しており、残り1,079,517冊が研究室等に配置されている。また、所蔵している雑誌の種類数（タイトル数）は、58,542種類（タイトル）である。

蔵書数		図書			雑誌（種類数）		
		計	和書	洋書	計	和	洋
東 広 島	中央	2,281,509	1,455,539	825,970	41,182	23,922	17,260
	東	240,404	125,433	114,971	7,564	4,583	2,981
	西	641,800	385,946	255,854	3,696	1,531	2,165
広 島	霞	191,043	114,929	76,114	4,816	3,541	1,275
	東千田	68,058	65,825	2,233	1,284	953	331
計		3,422,814	2,147,672	1,275,142	58,542	34,530	24,012

図書館 収容冊数		開架冊数		閉架冊数	総冊数	図書館収容総 冊数／蔵書数
			うち参考資料			
東 広 島	中央	1,169,455	12,183	475,783	1,645,238	72%
	東	152,730	0	0	152,730	64%
	西	407,796	5,465	1,582	409,378	64%
広 島	霞	64,846	442	4,332	69,178	36%
	東千田	63,047	1,315	3,726	66,773	98%
計		1,857,874	19,405	485,423	2,343,297	68%

※中央図書館の閉架冊数は自動書庫及び貴重資料室などに収容されている冊数。B2F 書庫は開架書庫としている。

図書受入数		図書受入数			除籍数			電子書籍 受入数	
		合計	和	洋	合計	和	洋		
東 広 島	中央	10,261	8,394	1,867	16,726	12,557	4,169	国内	540
	東	303	139	164	11,013	7,827	3,186	海外	46
	西	2,279	2,085	194	4,687	3,478	1,209	計	586
広 島	霞	1,197	1,087	110	606	480	126		
	東千田	986	967	19	1,009	1,004	5		
計		15,026	12,672	2,354	34,041	25,346	8,695		

2022年度の図書受入数は15,026冊、電子書籍は586点、雑誌受入数（電子ジャーナルを含まない）は3,582種類（タイトル）、視聴覚資料の受入は0点であった。一方、汚損・破損・紛失・重複等の理由によって除籍した資料は34,041冊であり、結果として蔵書数は19,015冊減少した。

図書受入数の内訳		購入			寄贈			その他		
		小計	和	洋	小計	和	洋	小計	和	洋
東広島	中央	5,202	4,492	710	3,815	3,178	637	1,244	724	520
	東	82	38	44	135	50	85	86	51	35
	西	2,037	1,972	65	151	61	90	91	52	39
広島	霞	847	796	51	90	88	2	260	203	57
	東千田	836	823	13	5	5	0	145	139	6
計		9,004	8,121	883	4,196	3,382	814	1,826	1,169	657

雑誌受入種類数		雑誌受入種類数			購入			寄贈		
		合計	和	洋	小計	和	洋	小計	和	洋
東広島	中央	2,400	1,859	541	1,406	913	493	994	946	48
	東	217	149	68	114	53	61	103	96	7
	西	173	126	47	172	125	47	1	1	0
広島	霞	515	429	86	245	165	80	270	264	6
	東千田	277	258	19	177	161	16	100	97	3
計		3,582	2,821	761	2,114	1,417	697	1,468	1,404	64

新聞受入種類数		新聞受入種類数			購入			寄贈		
		合計	和	洋	小計	和	洋	小計	和	洋
東広島	中央	20	14	6	18	12	6	2	2	0
	東	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西	10	9	1	10	9	1	0	0	0
広島	霞	13	11	2	8	6	2	5	5	0
	東千田	9	6	3	8	5	3	1	1	0
計		52	40	12	44	32	12	8	8	0

※複数の館で同じ新聞（例えば朝日新聞は4館）を受け入れていることがある。図書館で52種類の新聞を受け入れているというわけではない（31種類を受け入れている）。

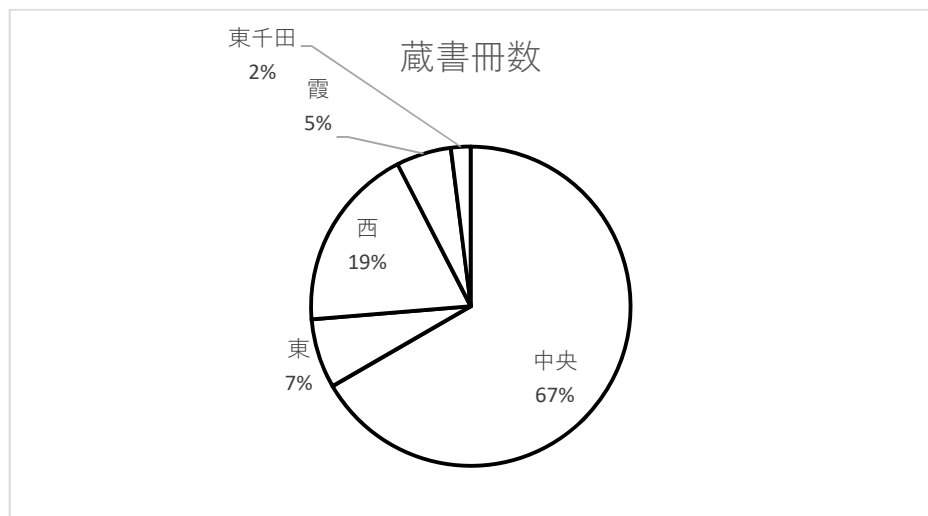


図1-1.図書館別蔵書冊数の比率

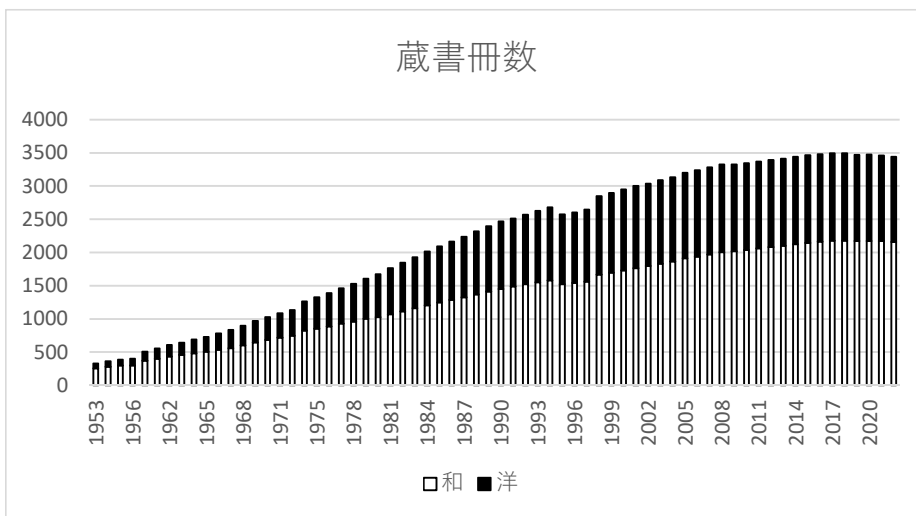


図1-2.図書館蔵書冊数

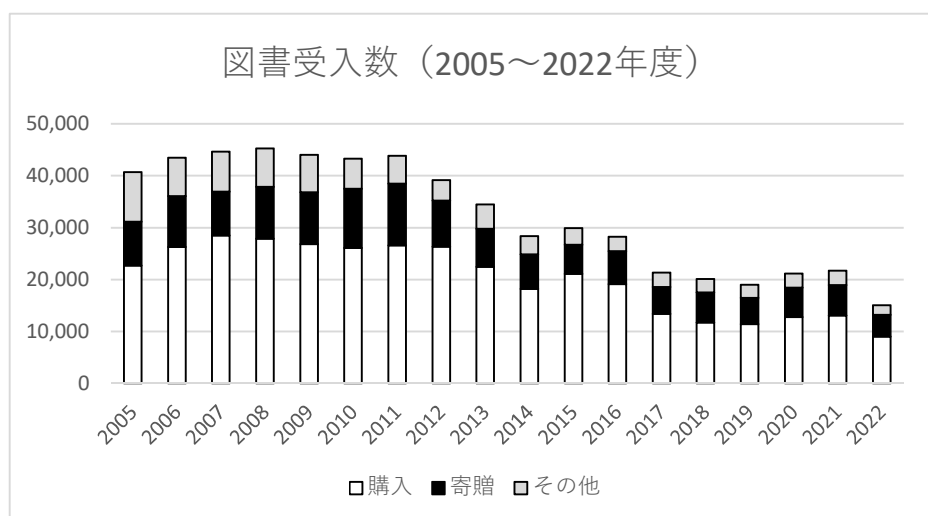


図1-3.図書受入数

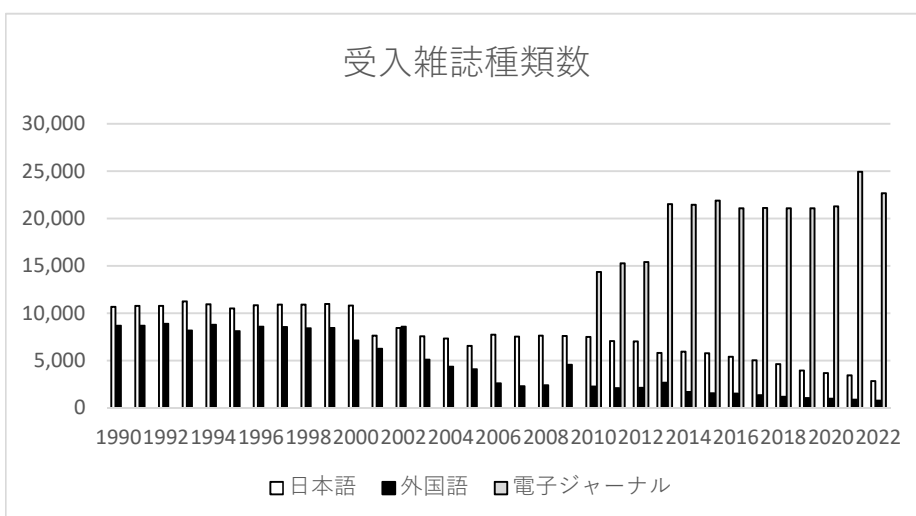


図1-4.受入雑誌種類数

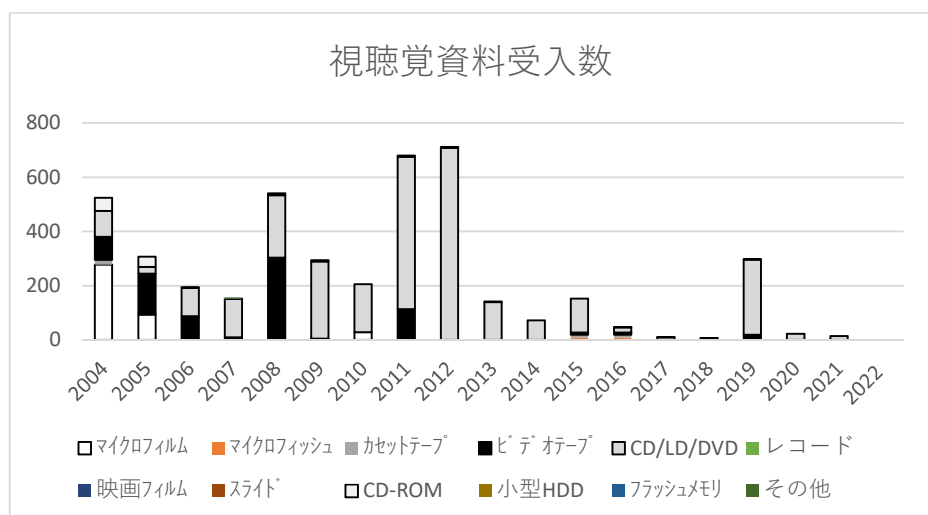


図1-5.視聴覚資料受入数

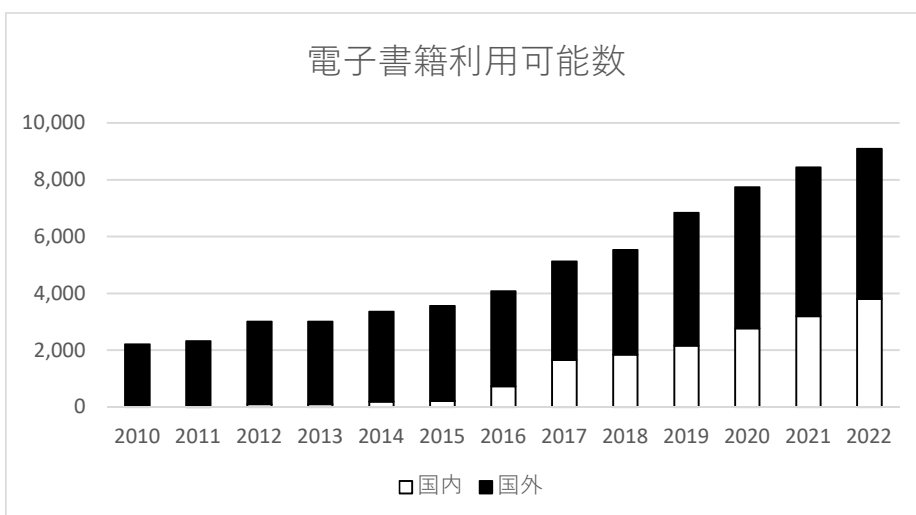


図1-6.電子書籍利用可能点数

図書館で購入する資料は、図書館運営会議の下に資料選定のための4つの専門部会（人文・社会科学系専門部会、教育科学系専門部会、自然科学系専門部会、生命科学系専門部会）及び資料選定事務部会を設置し、そこで選定するとともに、学部学生、大学院生及び教員からのリクエストを随時受け付けることで、多様な視点に基づいた資料が必要に応じて整備されるようにしている。

各図書館には、各キャンパスの学部構成や学部の配置に応じて資料を配置している。

- ・中央図書館 人文・社会科学分野（教育科学を含む）、自然科学分野（理系）及び学際分野。自動書庫には出版後10年が経過し、利用が減少した資料を配置
- ・東図書館 自然科学分野
- ・西図書館 教養的教育分野、自然科学分野（工学系、農林水産学系）
- ・霞図書館 生命科学分野
- ・東千田図書館 法学、経済学分野、教養的教育分野

近年、電子書籍の導入に力を入れている。2022年度は国内書籍540点、海外書籍46点の計586点を整備した。この結果、累計9,089点が利用できるようになった（買い切りの電子書籍の整備）。このほかにデータベース等の一部として利用可能となっている電子書籍が24,611点あり、計33,700点が利用できる。

また、学生用電子資料として参考資料等を整備しており、利用数（2022年度・4月～3月）は次の通りである。なお、国内の出版社等が提供する利用統計は算出方法が統一されていないので、あくまでも参考に過ぎない。

その他、2022年度に次の整備・トライアル等をおこなった。

- ・研究力分析ツール SciVal（サイバル）導入（4/1～）
- ・Japan Knowledge Lib に大漢和辞典を追加（4/1～）
- ・最新看護索引 Web の利用開始（霞キャンパス）（4/5～）
- ・臨床 EBM サポートツール「DynaMed」トライアル（6/9～9/30）
- ・Maruzen eBook Library 試読サービストライアル実施（9/26～3/25）

学生用電子資料	利用数	摘要
ジャパンナレッジ Lib + 日本歴史地名大系、国史大辞典、新編国歌大観、角川日本地名大辞典	158,196	本文参照回数 同時アクセス4
大漢和辞典（ジャパンナレッジ Lib）（上の外数）	1,954	同時アクセス10 （12月以降）
Westlaw Japan（新日本法規出版）	28,074	検索・表示数
研究者オンラインディクショナリー(KOD)	589	ログイン回数 同時アクセス5

雑誌記事索引集成 DB (皓星社)	1,045	検索数 同時アクセス 1
理科年表プレミアム	56	ログイン回数
中国新聞 plus 日経テレコン中国新聞コース	12,215	記事ダウンロード数 同時アクセス 2
朝日新聞クロスサーチ (8月までは「朝日新聞聞蔵 II ビジュアル for Libraries」)	31,604	本文表示数など 同時アクセス 2
日経テレコン 21	93,655	記事ダウンロード数 同時アクセス 3
毎索 (毎日新聞社データベース)	1,280	ログイン回数 同時アクセス 1
ヨミダス歴史館 (読売新聞記事データベース)	11,927	紙面表示数など 同時アクセス 1
20世紀メディア情報データベース (占領期の雑誌・新聞情報 1945-1949)	-	統計なし
Essay and general literature index	6,739	検索回数 同時アクセス 1
NAXOS MUSIC LIBRARY	3,950	ログイン数 同時アクセス 5
Web OYA-bunko 教育機関版 (大宅壮一文庫)	104	ログイン数 同時アクセス 1

各図書館が所蔵する蔵書の分類別冊数は次の通り (原則として日本十進分類法=NDC で分類・2023.8.22 現在)。蔵書目録のデータ化の進捗率が約 80% (未遡及冊数が約 64 万冊) であるため、あくまでもおおよその数字となるが、各館が担当する部局等の蔵書の特徴がよくあらわれている。

分類別冊数	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	
東 広 島	中央	69,484	93,048	168,610	435,814	132,016	41,172
	東	4,302	254	477	2,045	19,819	29,183
	西	16,182	36,888	42,210	93,070	68,116	29,383
広 島	霞	306	708	279	2,115	40,724	473
	東千田	1,747	3,317	3,202	42,975	5,013	2,394
計	92,021	134,215	214,778	576,019	265,688	102,605	

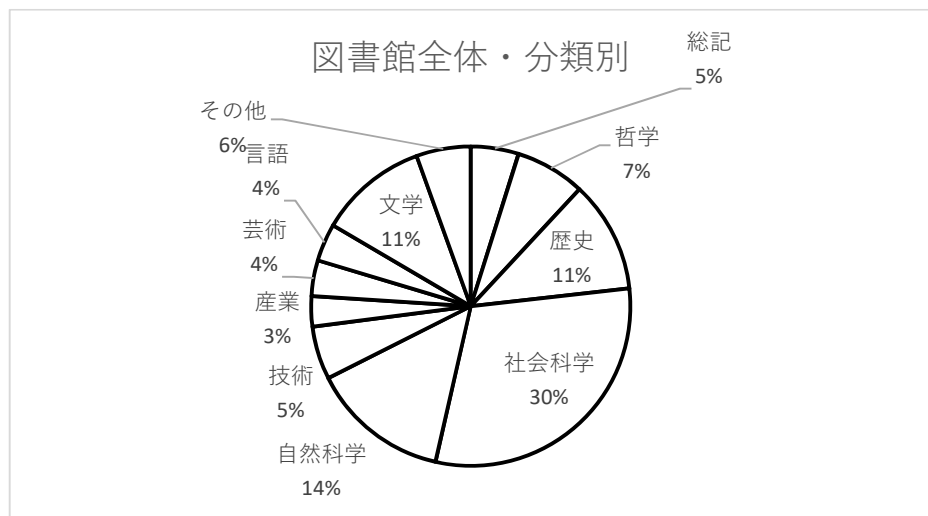


図2-1.図書館5館の分類別蔵書構成

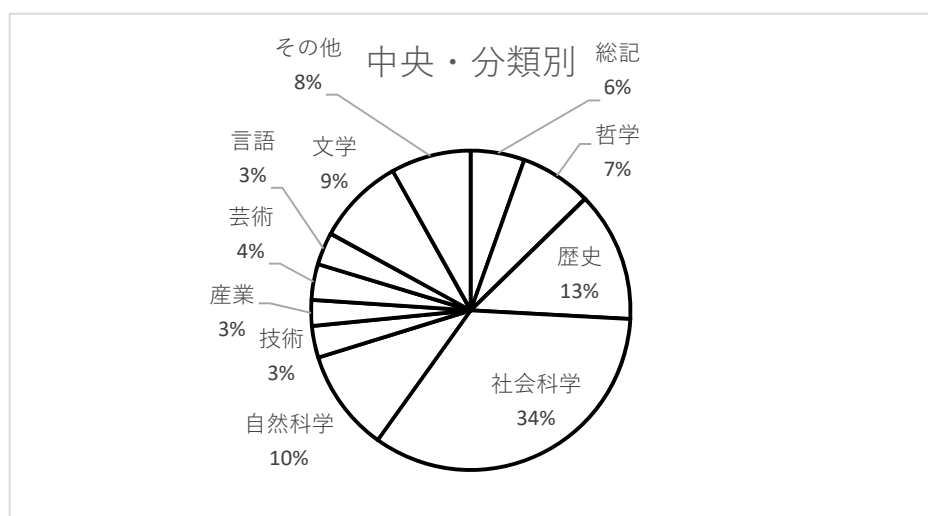


図2-2.中央図書館の分類別蔵書構成

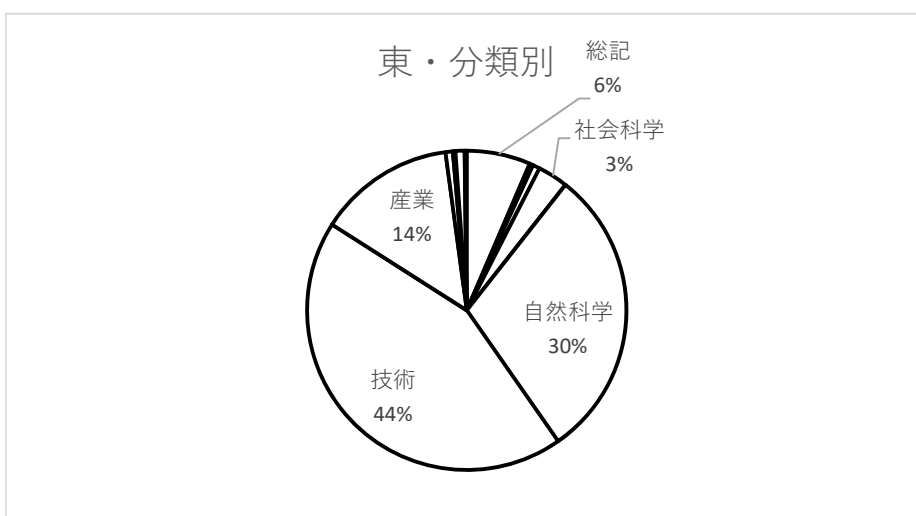


図2-3.東図書館の分類別蔵書構成

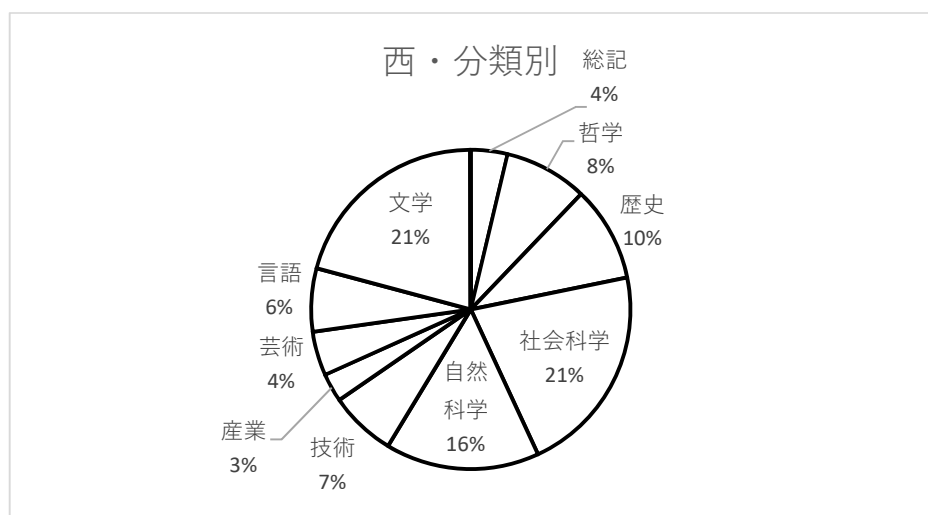


図2-4.西図書館の分類別蔵書構成

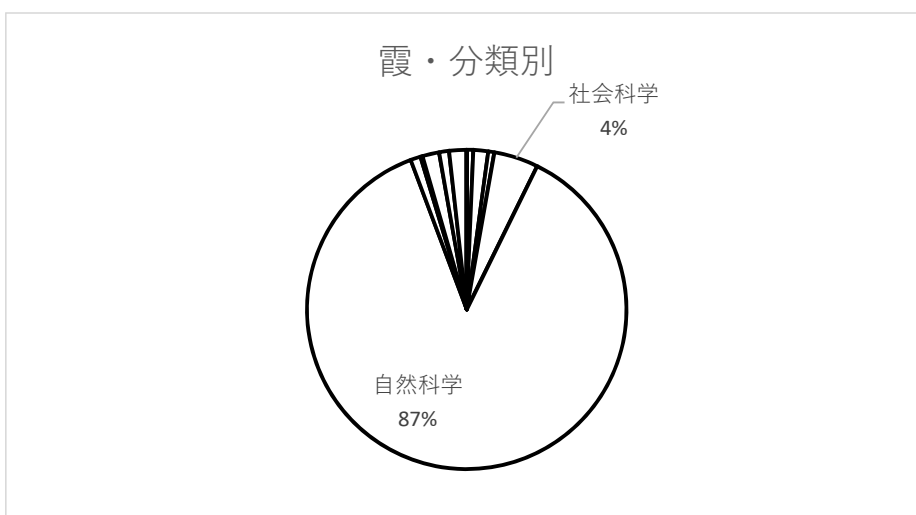


図2-5.霞図書館の分類別蔵書構成

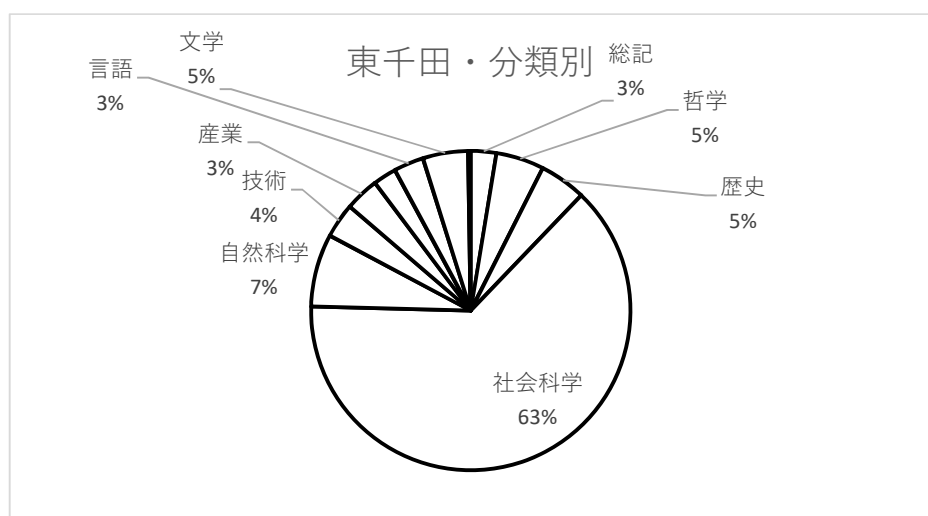


図2-6.東千田図書館の分類別蔵書構成

分類別冊数		産業	芸術	言語	文学	その他	合計
東 広 島	中央	33,596	46,330	41,993	114,201	103,925	1,280,189
	東	9,224	499	185	616	130	66,734
	西	12,656	19,527	27,943	90,873	265	437,113
広 島	霞	114	789	472	814	10	46,804
	東千田	2,346	1,610	2,059	3,104	186	67,953
計		57,936	68,755	72,652	209,608	104,516	1,898,793

※「総記」は、哲学から文学までの分類のいずれにも該当しないもの。

※「その他」は、教科書などNDCを用いて分類していないもの。

2-2. 図書館資料の活用

広島大学の学部学生数は9,928名、大学院生数は3,818名（いずれも収容定員数）である。図書館の資料貸出冊数に占める学生（学部学生＋大学院生）の割合は全体の83%である。2022年度の図書館の貸出冊数は141,084冊であり、昨年度より減少した。なお、2019年度より貸出冊数の計算方法を変更している（「貸出」のみから「貸出＋更新」へ）。図書館別の貸出冊数では、全体の68%を中央図書館が占めている。

電子書籍の利用件数は順調に伸びている。ただ、電子書籍の利用統計は海外製品と国内製品とで算出方法が異なる。海外製品は図書館の章あるいは節のダウンロード回数であり、国内製品（買い切りの電子書籍）は書籍へのアクセス回数（書籍を開いた回数に相当すると思われる）である。また、国内の電子書籍の利用統計は出版社によって算出方法が異なること、トライアル期間の利用件数を含んでいることから、図書館の貸出回数と電子書籍の利用回数とを単純に比較することは適切ではない。

利用者数		合計	学内者			学外者利 用登録数
			小計	学生	教職員	
東 広 島	中央	7,990	7,642	6,366	1,276	348
	東・西	5,467	5,467	5,073	394	-
広 島	霞	4,869	4,773	3,008	1,765	96
	東千田	1,453	1,339	1,254	85	114
計		19,779	19,221	15,701	3,520	558

貸出		貸出冊数				貸出人数			
		合計	学生	教職員	学外者	合計	学生	教職員	学外者
東 広 島	中央	96,513	81,045	10,827	4,641	42,610	36,257	4,618	1,735
	東	361	296	58	7	257	210	43	4
	西	30,967	26,717	3,294	956	15,059	13,204	1,488	367
広 島	霞	9,169	6,133	2,640	396	4,961	3,495	1,321	145
	東千田	4,074	2,313	1,110	651	1,668	1,081	425	162
計		141,084	116,504	17,929	6,651	64,555	54,247	7,895	2,413

分類別和洋別貸出冊数（2022年度・更新含む）

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
和	5,627	11,040	9,976	36,531	30,818	6,518
洋	198	604	320	1,463	1,091	166
計	5,825	11,644	10,296	37,994	31,909	6,684

	産業	芸術	言語	文学	その他	計
和	2,201	5,867	8,801	16,399	1,922	135,700
洋	57	191	1,603	872	129	6,694
計	2,258	6,058	10,404	17,271	2,051	142,394

新しく購入した図書がよく利用されていることを示すため、資料の回転率（＝貸出回数／受入冊数）を計算した。比較するために図書館に所蔵する図書全体の回転率を示している。特に学生希望図書がよく利用されている。

	2021年度受入冊数	2022年度貸出冊数	回転率
図書館に所蔵する図書	(2,343,297)	141,084	6%
図書館に新たに受け入れた図書	8,201	9,384	114%
学生希望図書	366	762	208%

電子書籍利用件数

	2019	2020	2021	2022
利用件数	98,546	133,946	162,009	174,350

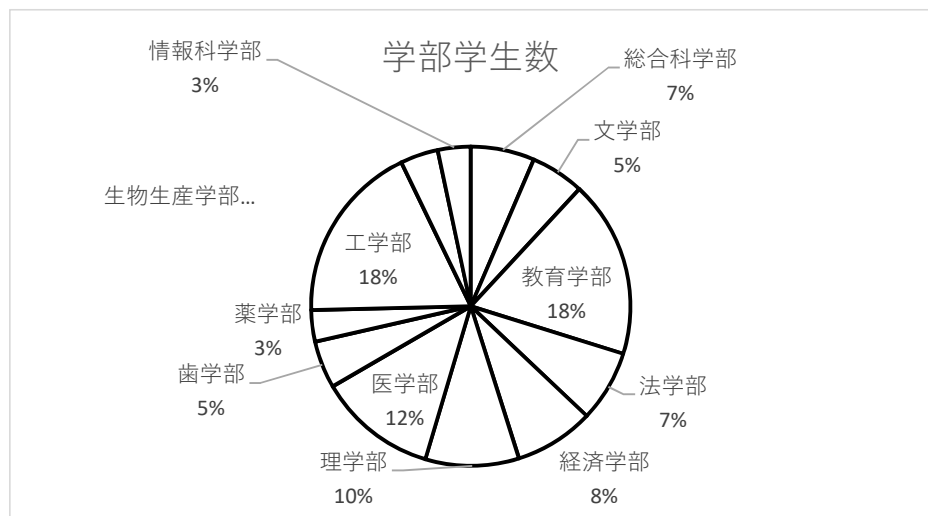


図3-1.学部学生の構成 (収容定員)

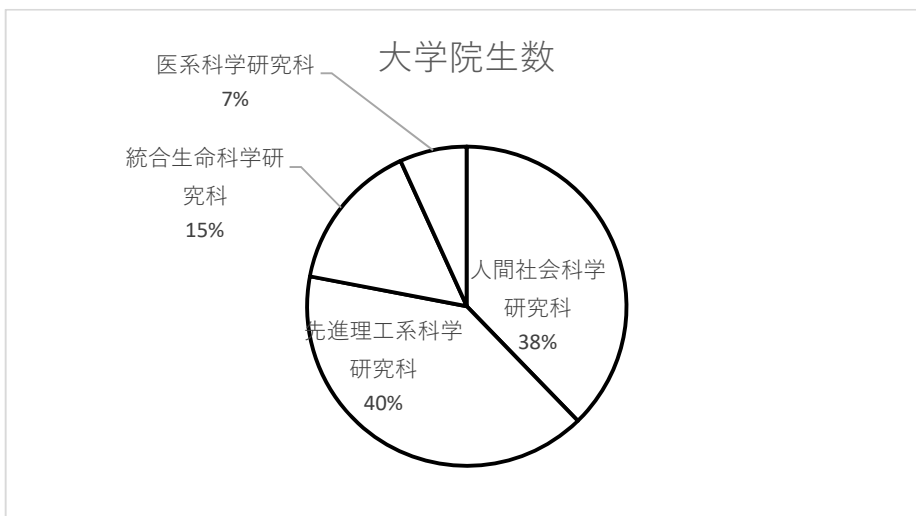


図3-2.大学院生の構成 (収容定員)

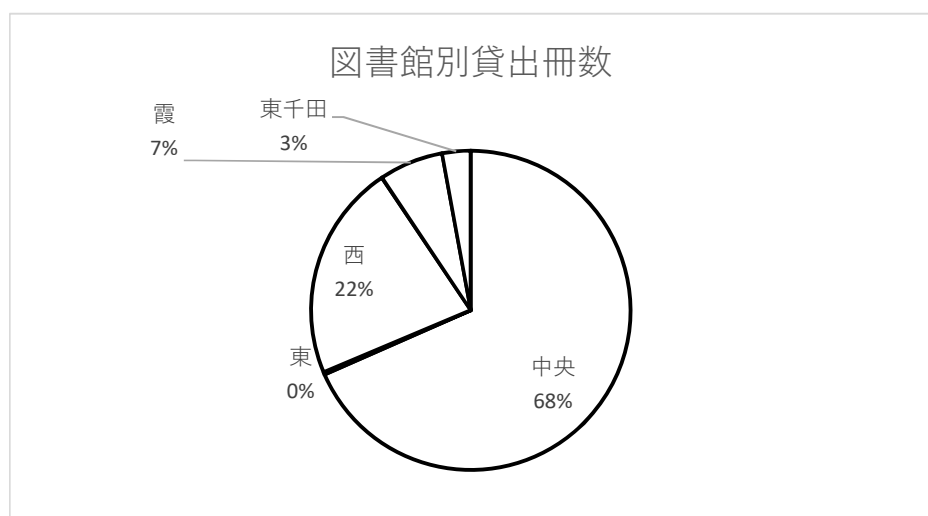


図3-3.貸出冊数の構成 (図書館別)

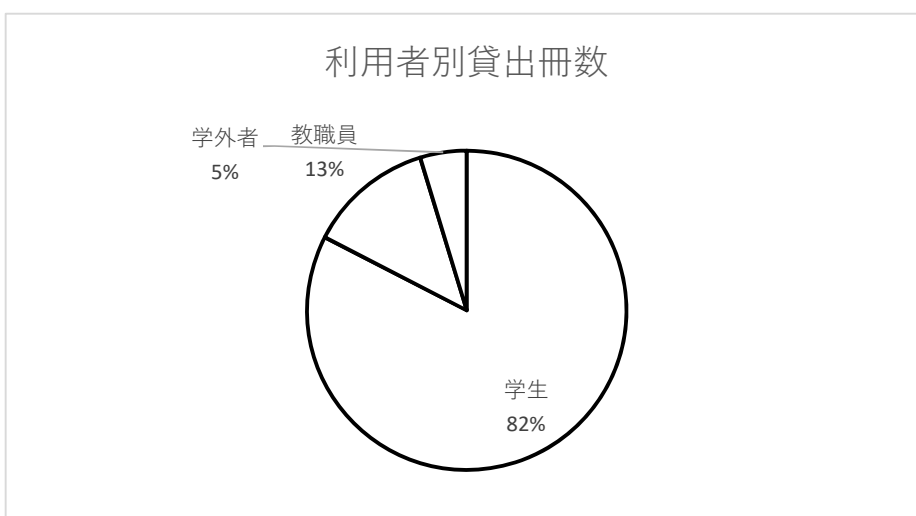


図3-4.貸出冊数の構成 (利用者別)

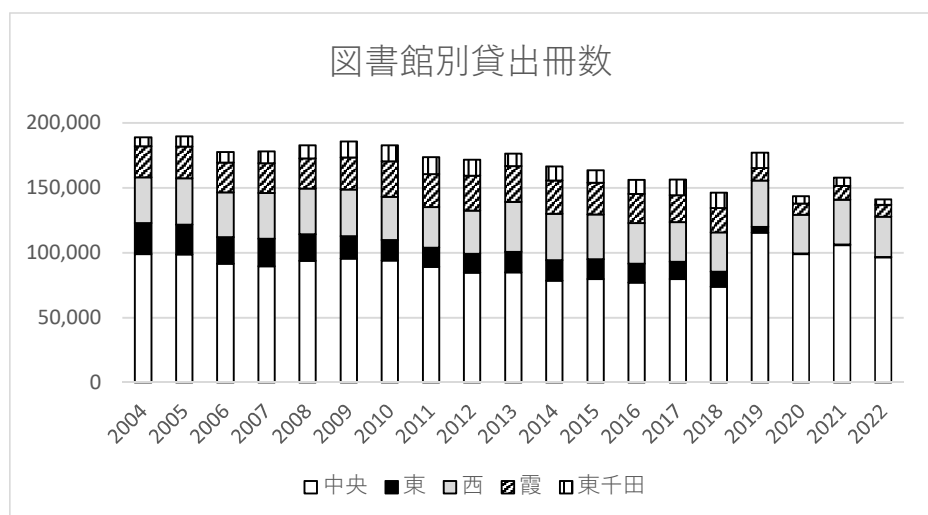


図3-5.図書館別貸出冊数

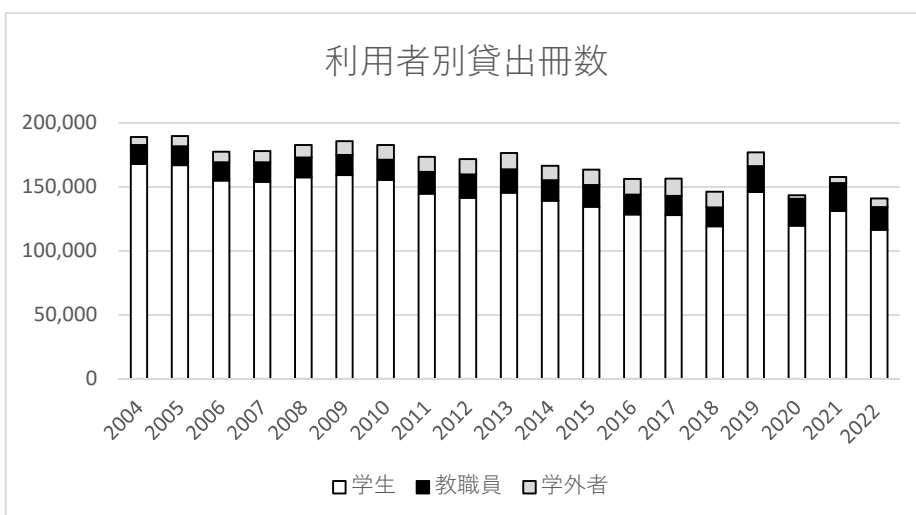


図3-6.利用者種別貸出冊数

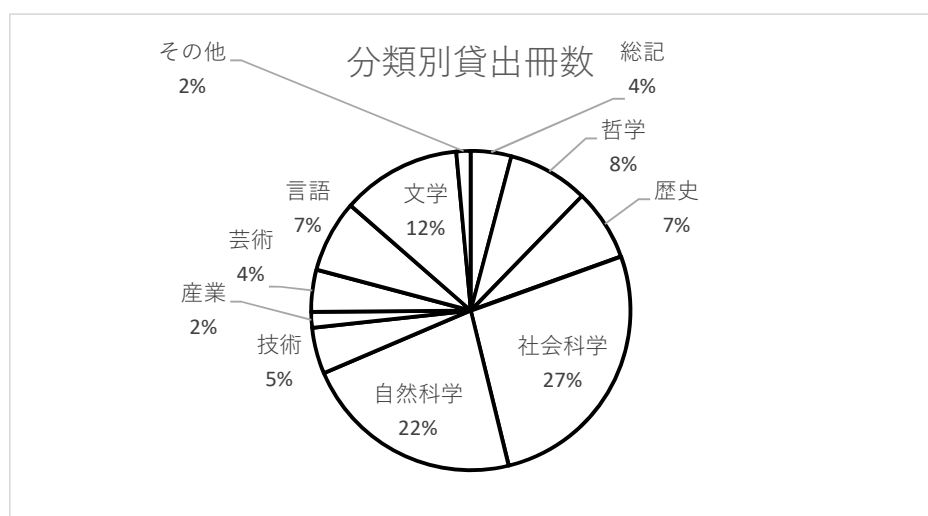


図3-7.貸出冊数の構成 (分類別)

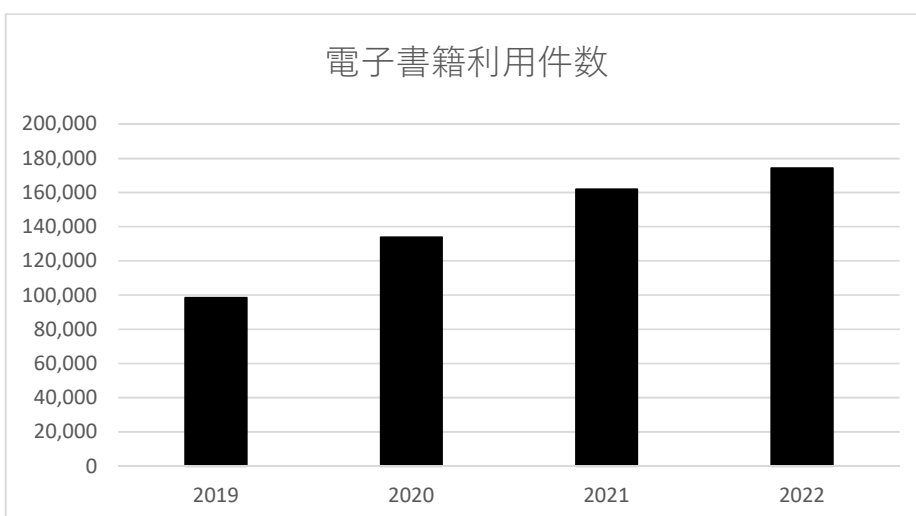


図3-8.電子書籍利用件数

2-3. 図書館資料の効果的利用

2-3-1. 図書館業務システム

図書館業務は大幅に電算化されている。1972年4月に電算機による業務の一部機械化が開始されて以降、1976年に逐次刊行物処理、1983年9月に図書所蔵情報のオンライン検索サービス開始、1985年に貸出返却、1987年4月にNACSIS-CATへの接続をおこない、1991年には図書館パッケージシステムを導入した。NACSIS-ILL開始(1994年4月)、蔵書目録(OPAC)のインターネット公開(1995年10月)に続き、ウェブサイトの公開(1996年8月)、各種申込機能等のウェブ化(貸出図書の状況照会・図書予約申込みを1999年5月開始、各種申込機能等を「Webリクエスト」の総称で2003年11月開始)、自動貸出機の設置(2004年4月)、広島大学学術情報リポジトリの公開(2006年10月)をおこなった。また、2000年から貴重資料のデジタル化を開始し、中国五県土地租税資料、奈良絵本をはじめとするデジタルコレクションを作成してきた。2022年3月にはデジタルアーカイブのIIIF対応を進めている。

1972年4月	電算機による業務機械化開始
1979年8月	学術文献情報検索サービス(HUNDRED)開始
1980年10月	図書館業務システムを自主開発
1987年4月	学術情報センター(現国立情報学研究所)と接続、目録登録開始
1991年2月	図書館専用電子計算機稼働。図書館専用パッケージソフト導入 (日立 HITAC-M640/30E)
1995年3月	附属図書館専用電子計算機更新(日立 HITAC-M640/45E)
1999年3月	更新(日立 LOOKS21/U)
2003年3月	更新(丸善 CALIS)
2008年9月	更新(丸善 CALIS)
2013年9月	更新(富士通 iLiswave-J)
2018年9月	更新(富士通 iLiswave-j)

図書館はウェブサイトから様々なシステムを提供しており、利用者は自宅などからこれらの機能を24時間いつでも利用することができる。それぞれの利用状況は次の通り。

	2020年度	2021年度	2022年度
蔵書目録検索回数	1,513,327	1,529,471	1,796,439
「利用状況・貸出更新」の利用回数	48,784	56,202	50,069
ウェブからの貸出更新利用回数	17,378	21,099	19,675
ウェブからの貸出更新冊数	40,460	44,232	38,904
「文献複写申込」「図書借用申込」利用回数	5,663	5,843	4,473

「新規購入依頼」利用回数	755	732	552
「ブックマーク」利用回数	7,243	8,665	7,985
「お気に入り検索」利用回数	166	181	173
「レビュー履歴」利用回数	161	473	188
「タグ履歴」利用回数	81	111	108

自動貸出機		設置 台数	貸出冊数		
			2020	2021	2022
東 広 島	中央	3	49,995	53,278	49,145
	東	1	412	443	359
	西	2	27,080	31,049	29,039
広 島	霞	1	6,838	8,552	5,104
	東千田	1	3,426	4,104	2,280
計		8	87,751	97,426	85,927

2-3-2. 蔵書目録と遡及入力

図書館資料が効果的に利用できるように、図書館では蔵書目録（OPAC）のデータ整備を進めている。2021年度末現在で遡及入力（これまでに受け入れた資料のデータ入力）の進捗状況は82%であり、図書館に所蔵する特別資料等（約32,000冊）、研究室等に所蔵されている資料の半数以上（約604,000冊）の約64万冊が未入力となっている。

2022年度の遡及入力冊数は次の通り。

		計	和	洋
東 広 島	中央	10,337	7,147	3,190
	東	718	320	398
	西	355	246	109
広 島	霞	12	10	2
	東千田	10	9	1
計		11,432	7,732	3,700

2-3-3. 学内の他の図書館の利用

学内の他の図書館に所蔵している資料や資料の複写物を最寄りの図書館に取り寄せることができる。また、借りた本は学内のどの図書館でも返却することができる。このために5館の間を結ぶ連絡便を運行している。広島（霞キャンパス・東千田キャンパス）・東広島キャンパス間は週3日、東広島キャンパス内は週5日運行しており、2022年度の運搬冊数は

図書 25,813 冊であった。これに購入手続き等が完了した後の研究室等への配送冊数(※1)、受入手続き後の雑誌の各館・研究室等への配送冊数(※2)をあわせると約 3.5 万点の資料が移動した計算になる。

※1. 年間購入冊数(2022年度は 9,004 冊) - 図書館購入冊数(6,959 冊) = 2,045 冊

※2. 2022年度の雑誌受入種類数=3,582種類のうち、中央図書館以外の図書館に配置しているものが1,182点あり、雑誌の刊行頻度を仮に隔月刊(実際は年刊～週刊)とすれば、 $1,182 \times 6 = 7,092$ 点となる。

他館返却 (2022年度)		到着館					合計
		中央	東	西	霞	東千田	
発送館	中央		66	10,529	194	419	11,208
	東	233		496	5	3	737
	西	3,299	57		64	129	3,549
	霞	399	2	499		108	1,008
	東千田	899	4	506	61		1,470
合計		4,830	129	12,030	324	659	17,972

予約・取寄配送 (2022年度)		到着館					合計
		中央	東	西	霞	東千田	
発送館	中央		0	323	524	789	1,636
	東	11		28	18	7	64
	西	74	0		486	393	953
	霞	284	0	144		55	483
	東千田	539	0	113	99		751
合計		908	0	608	1,127	1,244	3,887

研究室図書の貸借 (2022年度)		依頼館(到着館)					合計
		中央	東	西	霞	東千田	
受付館 (発送館)	中央		0	0	2	33	35
	東	0		0	0	0	0
	西	0	0		1	4	5
	霞	2	0	1		2	5
	東千田	4	0	1	0		5
合計		6	0	2	3	39	50

	中央	東	西	霞	東千田	合計
図書館配置図書の配送冊数	5,003	20	2,120	835	879	8,857

※図書館配置図書は中央図書館で目録を作成した後に各館に配送する。

図書館間配送冊数 合計（2022年度）		到着館					合計
		中央	東	西	霞	東千田	
発送館	中央		86	12,972	1,557	2,124	16,739
	東	244		524	23	10	801
	西	3,373	57		552	527	4,509
	霞	687	2	645		165	1,499
	東千田	1,475	4	624	162		2,265
合計		5,779	149	14,765	2,294	2,826	25,813

※「他館返却」＋「予約・取寄配送」＋「研究室図書の貸借」×2（往復）＋「受入冊数」（中央図書館を除く）

	2021年度	2022年度
他館返却	21,136	17,972
予約・取寄配送	5,138	3,887
研究室図書の貸借	74	50
図書館配置図書の配送	4,383	3,854
計	30,805	25,813

2-3-4. 他大学の図書館の利用

広島大学図書館に所蔵していない資料を他大学等の図書館から取り寄せることや資料の文献複写を依頼することができる。2022年度の利用件数は次の通り。

図書・雑誌の 貸借（冊数） 2022年度		国内				海外		小計	
		大学図書館		その他		貸出	借受	貸出	借受
		貸出	借受	貸出	借受				
東 広 島	中央	804	500	79	55	10	3	893	558
	東	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	129	160	14	42	-	-	143	202
広 島	霞	38	24	9	1	0	0	47	25
	東千田	16	107	2	14	0	0	18	121
計		987	791	104	112	10	3	1,101	906

文献複写 （件数） 2022年度		国内				海外		小計	
		大学図書館		その他		受付	依頼	受付	依頼
		受付	依頼	受付	依頼				
東 広 島	中央	1,492	1,496	67	201	3	39	1,562	1,736
	東	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	110	-	6	-	-	-	116	-
広 島	霞	604	840	96	67	0	0	700	907
	東千田	20	193	2	6	0	0	22	199
計		2,226	2,529	171	274	3	39	2,400	2,842

2-3-5. 公共図書館との相互利用

広島県立図書館・広島市立図書館・東広島市立図書館と相互利用をおこなっている（東広島市立図書館への貸出は行っていない）。

	貸出	借用
広島県立図書館	26冊	137冊
広島市立図書館	90冊	86冊
東広島市立図書館	-	1,045冊
計	116冊	1,268冊

2-3-6. 図書館ウェブサイト

図書館では、1996年8月にウェブサイトを公開し、図書館に関する様々な情報を発信している。ロボット等のアクセスが多いため、ウェブサイトのアクセス統計は作成していない。



図4-1.遡及入力冊数

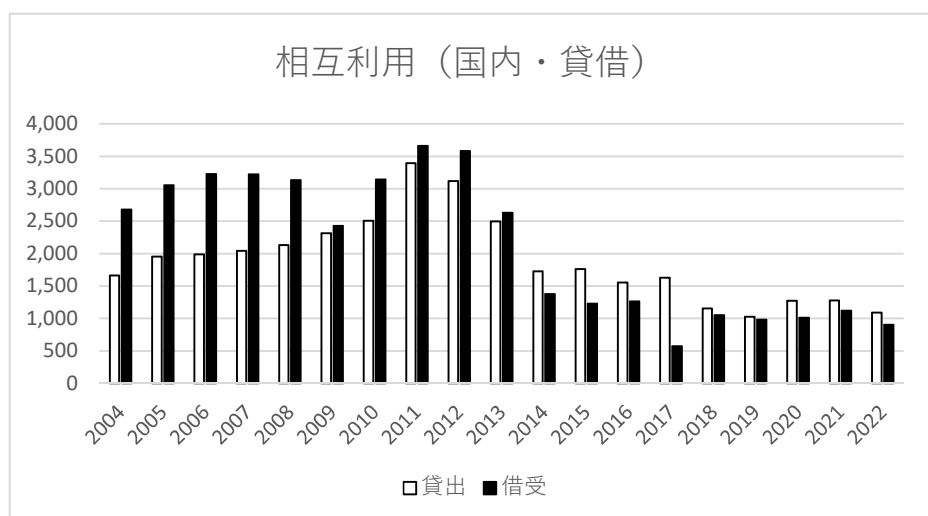


図4-2.現物貸借（国内）

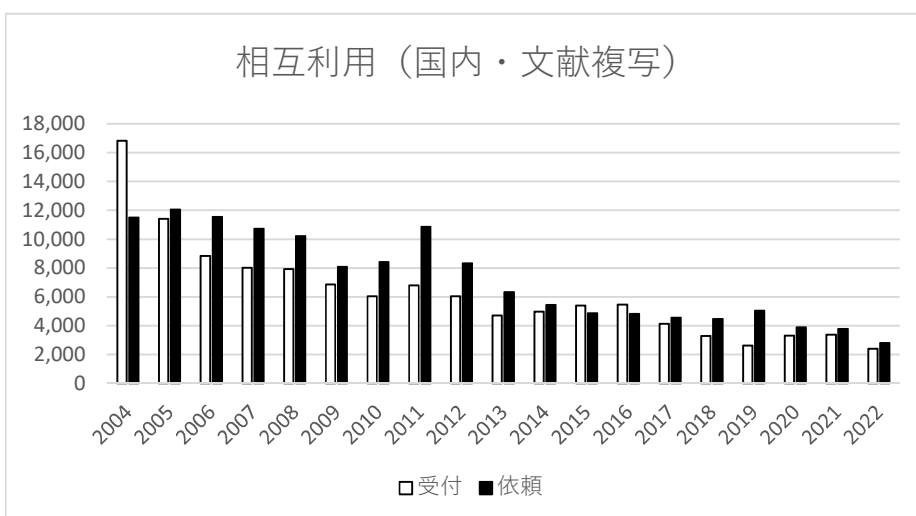


図4-3.文献複写（国内）

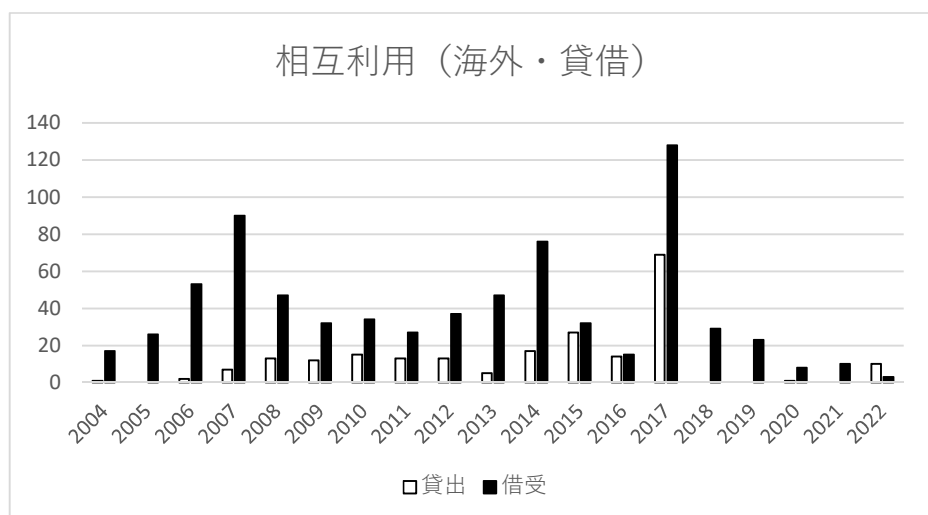


図4-4.現物貸借（海外）

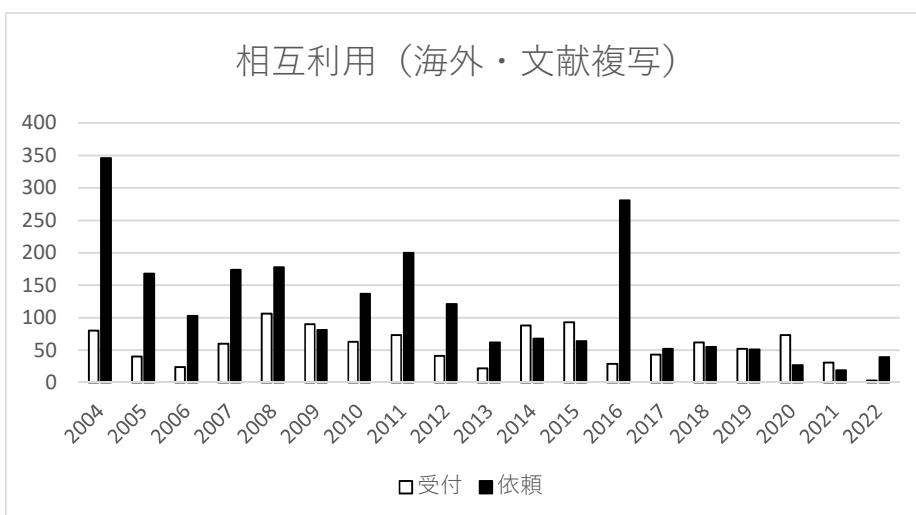


図4-5.文献複写（海外）

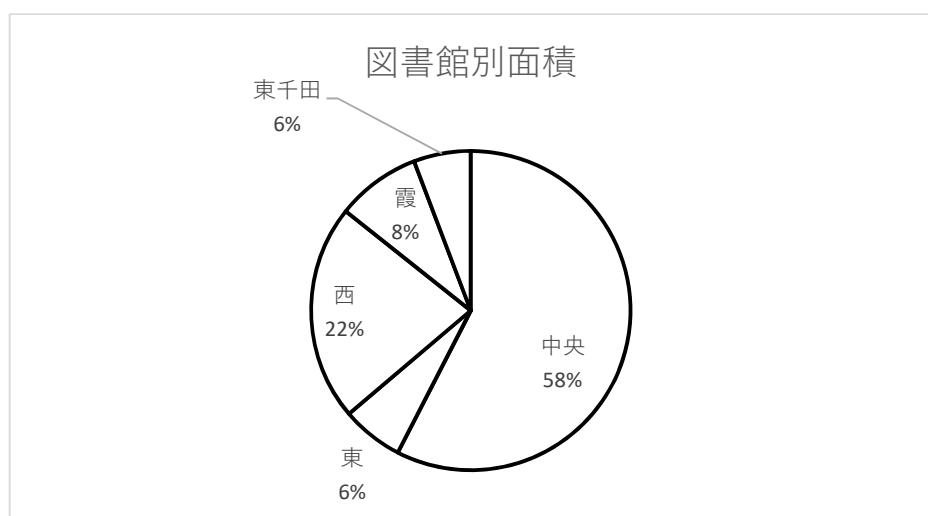


図4-6.図書館別面積

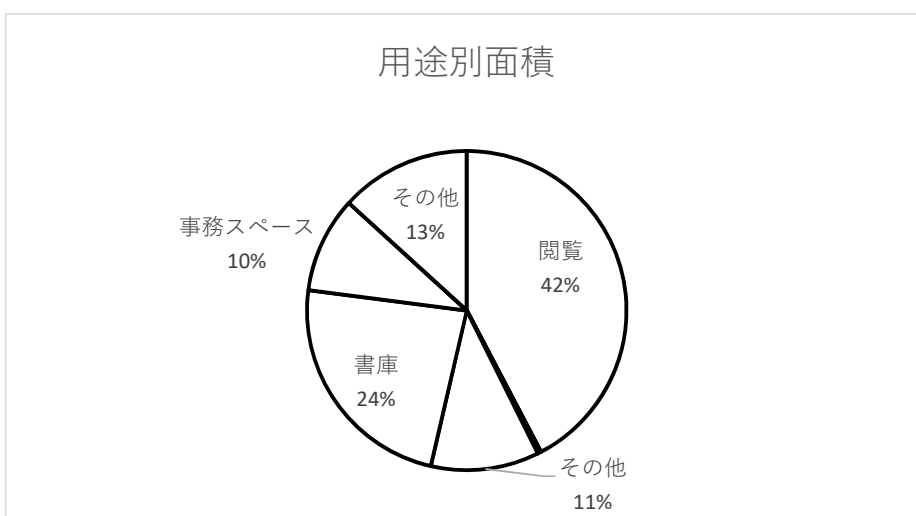


図4-7.図書館・用途別面積

2-4. 図書館施設の整備

2022年度末現在の図書館施設は次の通り。5館あわせて27,892㎡のうち、閲覧等の利用のためのスペースが53%、書庫が23%を占めており、事務室及び機械室等のスペースが23%を占めている。総座席数は2,378席だが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として2,135席(90%)に制限(2023年5月1日現在)している。なお、2023年5月8日に感染症法上の分類が2類から5類へ移行したことに伴い座席数を元に戻した。

		総延面積	サービス・スペース				管理スペース		その他
			閲覧	視聴覚	情報端末	廊下等	書庫	事務	
東広島	中央	16,053	6,304	2	0	1,544	4,416	2,215	1,572
	東	1,745	0	0	0	149	890	0	706
	西	6,102	2,752	0	73	993	886	237	1,161
広島	霞	2,382	1,551	0	7	304	137	152	231
	東千田	1,610	1,195	5	10	66	202	111	21
計		27,892	11,802	7	90	3,056	6,531	2,715	3,691

2023.5.1 現在		(通常期)	新型コロナ対応	
		閲覧座席数	閲覧座席数	比率
東広島	中央	992	826	83%
	東	29	29	100%
	西	882	805	91%
広島	霞	385	385	100%
	東千田	90	90	100%
計		2,378	2,135	90%

書架使用率		棚数	使用棚数	空き棚数	書架使用率
東広島	中央	72,473	53,315	19,158	0.736
	自動書庫	-	-	-	(0.661)
	東	8,232	5,142	3,090	0.625
	西	20,932	16,360	4,572	0.782
広島	霞	4,002	2,462	1,540	0.615
	東千田	9,123	3,774	5,349	0.414
計		114,762	81,053	33,709	0.706

※空き棚数調査による。事務用書架等は含まない。自動書庫は管理システムから取得した。

図書館の資料収容冊数は約 234 万冊である。2023 年度に書架の空き棚数を調査したところ、書架の使用率は 71%であった。数字の上では余裕があるように見えるかもしれないが、図書収容可能冊数は計算上の値に過ぎない。実際は図書を分類順に並べる必要があり、図書が書架に均等に分布しているわけではないこと、蔵書の増加や研究室からの返却資料が全ての分類にわたって一様に分布しているわけではないことから、新たに追加する資料が特定の分類に集中した場合は、全館の配架状態を大幅に調整しなくてはならなくなることもあり、決して余裕があるわけではない。

図書館各館の竣工年などは次の通り。

- ・中央図書館 1992 年度竣工、1995 年度増築、2014 年度自動書庫運用開始
- ・東図書館 1982 年度竣工、2019 年度改修
- ・西図書館 1993 年度竣工、2019 年度改修
- ・霞図書館 1981 年度竣工、2019 年度改修
- ・東千田図書館 2000 年度竣工、2022 年度改修

各館に設置されているラーニングコモンズ (BIBLA) の面積・座席数は次の通り (BIBLA の座席数は各館の座席数の内数。ただし、東千田図書館のみ外数)。

- ・中央図書館 (2010 年度設置) BIBLA 752 m²・145 席 (スタディスペース 95 席・グループスペース 50 席)
- ・東図書館 (2009 年度設置・2020 年度拡充) BIBLA East 149 m²・29 席
- ・西図書館 (2020 年度設置) BIBLA West 249 m²・102 席
- ・霞図書館 (2013 年度設置) BIBLA Kasumi 155 m²・53 席
- ・東千田図書館 (2016 年度設置) BIBLA Senda 416 m²・145 席 (サイレントゾーン 62 席・アクティブゾーン 83 席)

また、閲覧個室、グループ閲覧室等の設置状況は次の通り。

- ・中央図書館 閲覧個室 26 (内、教員閲覧室 4)、グループ閲覧室 9、ライブラリーホール 1 (126 席)
- ・西図書館 個室 4、グループ閲覧室 13、語学自習室 1 (16 席)

障害者差別解消法への対応として、館内のバリアフリー化を進めている。

バリアフリー対応		多目的トイレ	拡大読書機	車いす対応機	摘要
東 広 島	中央	○1F	○1F	○1F	対面朗読室 1 室
	東	○2F	-	-	
	西	○2F	○2F	-	
広 島	霞	○1F	-	-	
	東千田	-	○1F	-	

2022年度は次の整備をおこない、利用環境の改善につとめた。

- ・中央図書館： 椅子の座面張替(34脚)、電動ブラインド修理(ライブラリーホール)、1F点字鉸補修
- ・東図書館： 車椅子を新たに整備、電動集密書架照明機器の修理
- ・西図書館： 車椅子を更新、閲覧室の照明器具をLEDに交換、2F多目的トイレにオートソープを設置
- ・霞図書館： 玄関前の照明工事、駐輪場増設

2-5. 図書館施設の活用

図書館の開館時間は次の通り。2020年度・2021年度は新型コロナウイルス感染症流行のため臨時閉館や短縮開館などをおこなったが、2022年度は改修のあった東千田図書館を除き、大きな変更はなかった。

開館時間		授業期間			休業期間		
		平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜
東 広 島	中央	8:30-22:00	10:00-20:00	10:00-20:00	8:30-17:00	閉館	閉館
	東	8:30-21:00	10:00-17:00	閉館	8:30-17:00	閉館	閉館
	西	8:30-21:00	10:00-17:00	閉館	8:30-17:00	閉館	閉館
広 島	霞	8:30-21:00	10:00-17:00	10:00-17:00	8:30-21:00	閉館	閉館
	東千田	8:30-22:00	13:00-19:00	13:00-19:00	8:30-21:00	13:00-19:00	閉館

※祝日及び年末年始(12/28-1/4)は休館(中央図書館は授業期・祝日を試行開館)

※霞図書館：成人の日及び2月の土日祝日は開館(10:00-17:00)

		年間開館日数	平日日数	土曜開館日数	休日開館日数	時間外開館時間数	年間開館時間	入館者数
東 広 島	中央	308	235	34	39	1,535	3,516	364,040
	東	268	234	34	0	882	2,855	21,489
	西	268	234	34	0	887	2,876	99,052
広 島	霞	311	238	35	38	3,619	5,566	110,375
	東千田	270	234	19	17	1,189	3,136	12,900
計		1,425				8,112	17,949	607,856
平均		285				1,622	3,590	

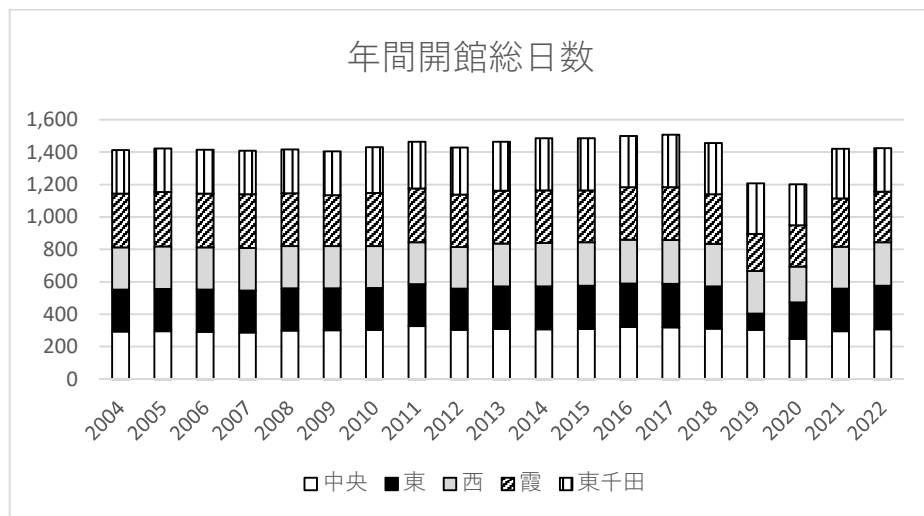


図5-1.年間開館総日数

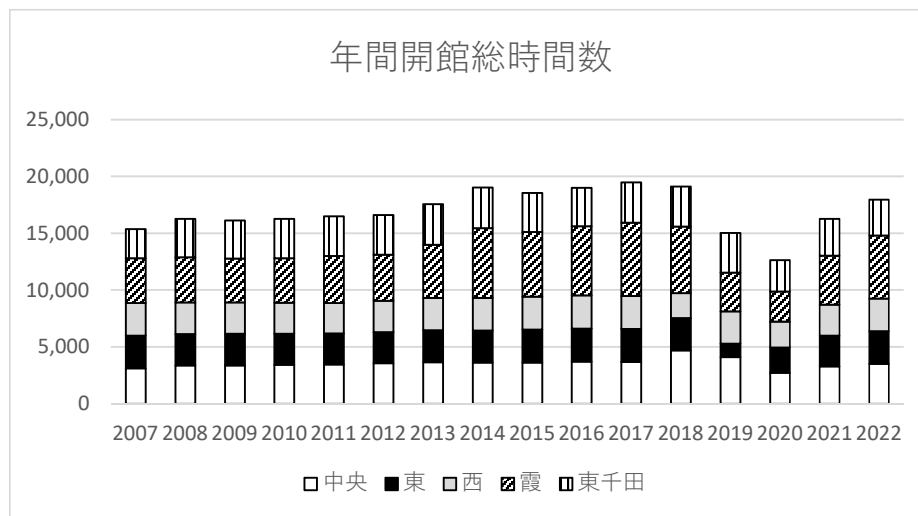


図5-2.年間開館総時間数

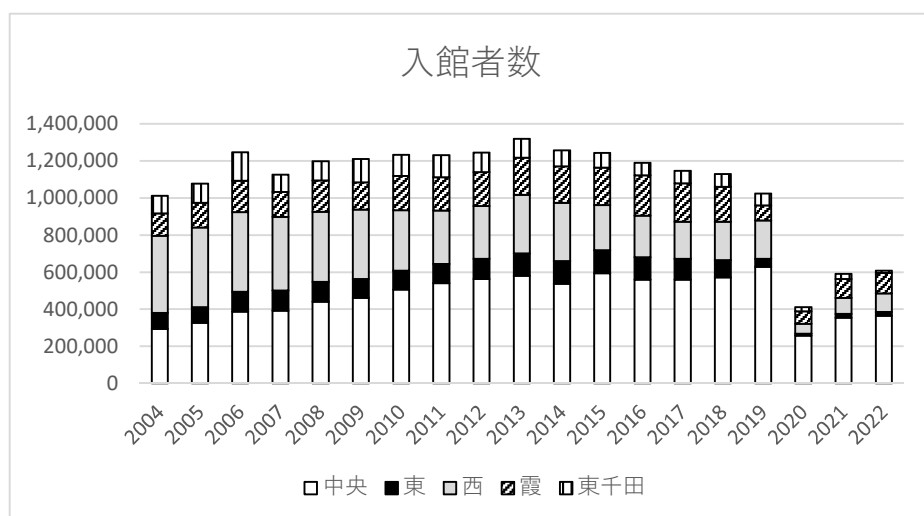


図5-3.入館者数

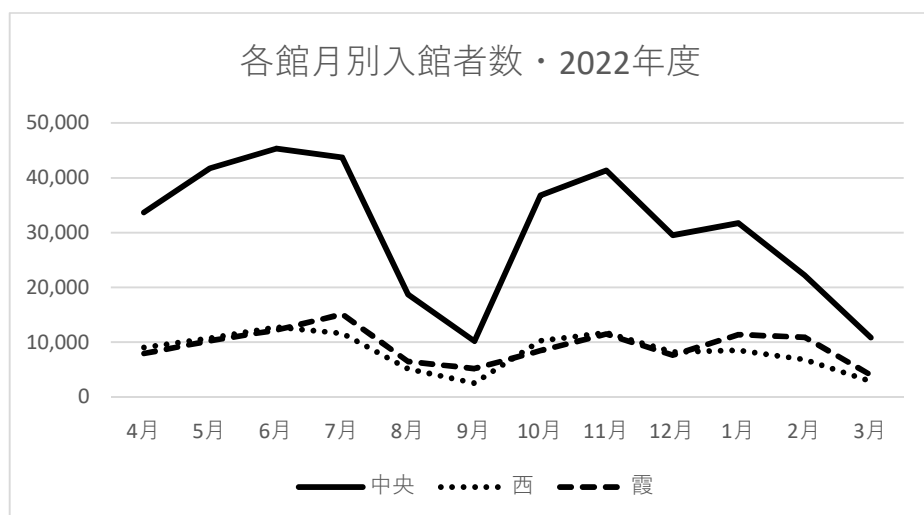


図5-4.各館の月別入館者数（中央・西・霞）

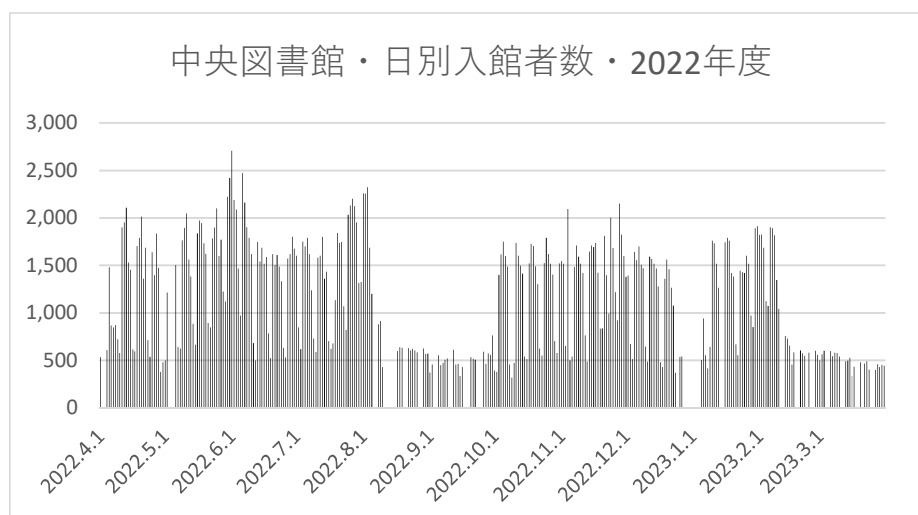


図5-5.中央図書館の日別入館者数

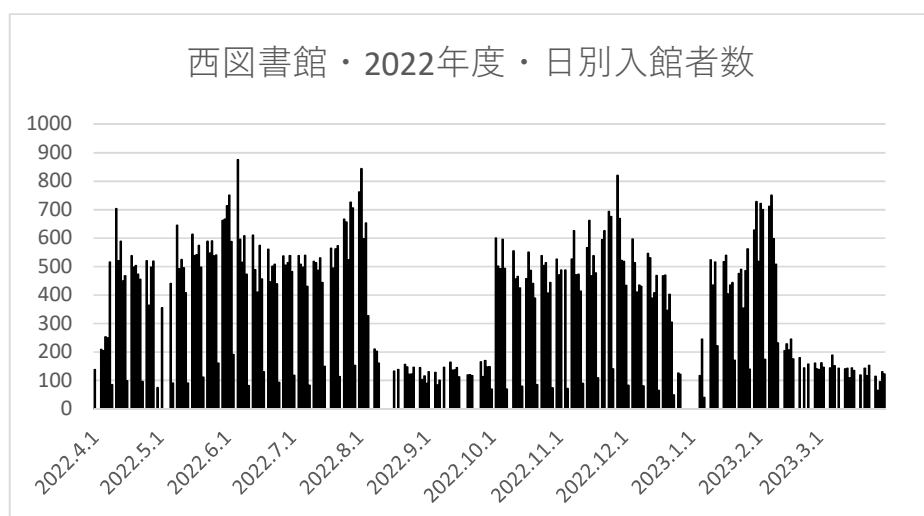


図5-6.西図書館の日別入館者数

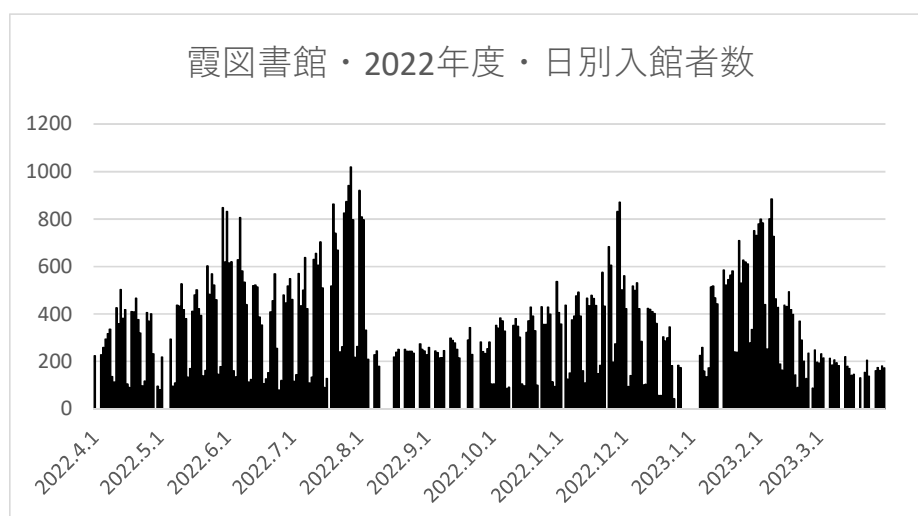


図5-7.霞図書館の日別入館者数

2022年度の中央図書館・西図書館の閲覧個室・グループ閲覧室、中央図書館のライブラリーホール、地域・国際交流プラザの利用は次の通り。

	閲覧個室	グループ閲覧室
中央	延べ 14,565 人 (26 室)	123 回延べ 1,000 人 (9 室)
西	延べ 720 人 (4 室)	感染防止のため休止 (13 室)

	2019	2020	2021	2022
中央・閲覧個室	17,936	10,231	13,684	14,565

	ライブラリーホール	地域・国際交流プラザ
中央	28 回	6 回 (延べ 89 日)

中央図書館には 87 万冊収容可能な自動書庫が設置されている。利用実績は次の通り。

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
利用者からの請求回数	1,382	1,450	1,219
出庫冊数 (事務用含む)	4,285	4,742	3,111

2-6. 図書館の活用を促す取り組み

2-6-1. 図書館の利用方法等の案内 (参考業務)

図書館では各館の窓口で図書館の利用方法等を案内している。各館の窓口で受けた質問数は次の通り。なお、東図書館と西図書館は参考業務を実施していない。

		合計	利用者別内訳			内容別内訳			
			学内者		学外者	文献所在調査	事項調査	利用指導	その他
			教職員	学生					
東 広 島	中央	2,171	452	1,417	302	1,317	249	606	0
	東	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	-	-	-	-	-	-	-	-
広 島	霞	1,667	334	1,083	250	1,000	167	500	0
	東千田	234	43	133	58	141	23	70	0
計		4,072	829	2,633	610	2,458	439	1,176	0

2-6-2. 情報リテラシー教育

新入生に図書館の基本的な利用方法等を説明するため、図書館利用ガイダンスをおこな

っている。また、様々なデータベース等の利用方法を説明するため、各種講習会、出版社の講師を招いたセミナー等をおこなっている。2022年度の実施概要は次の通り。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、留学生・院生・編入生向け図書館オリエンテーション動画、図書館ミニガイドンス動画を図書館ウェブサイトから公開した。

		図書館利用ガイドンス				文献検索ガイダンス		その他講習会		合計	
		新入生対象		新入生以外		回数	延参加者	回数	延参加者	回数	延参加者
		回数	延参加者	回数	延参加者						
東 広 島	中央	4	2,617	0	0	24	465	0	0	28	3,082
	東	1	50	0	0	0	0	0	0	1	50
	西	1	11	0	0	0	0	0	0	1	11
広 島	霞	2	20	0	0	8	102	0	0	10	122
	東千田	2	29	0	0	4	65	0	0	6	94
計		10	2,727	0	0	36	632	0	0	46	3,359

2-6-3. 広報

図書館から利用者への広報として図書館ウェブサイトとTwitterを運用している。以前は「図書館報」等を発行していたが、今は紙媒体の発行をとりやめている。なお、Facebookを2015年7月から運用していたが、広報体制の見直しにより2022年3月31日で更新を停止した。

図書館ウェブサイト (1996.8～) <https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?lang=japanese>

Twitter 2012.5～(継続) https://twitter.com/HiroshimaU_Lib

広報誌の変遷

「図書館だより」Vol.1(1972)～Vol.21(1995) → LIAISON に改題

「図書館報 LIAISON」Vol.22 No.1(1996.3)～Vol.36(2012.2)

「みんと：広島大学図書館広報誌」創刊号(2012年4月)～第20号(2018年10月)

「広島大学図書館メールマガジン」2007.1～2015.6(年4回)

「HiR ニュースレター」創刊号(2010.10)～第12号(2013.1)

facebook 2015.7～2022.3.31

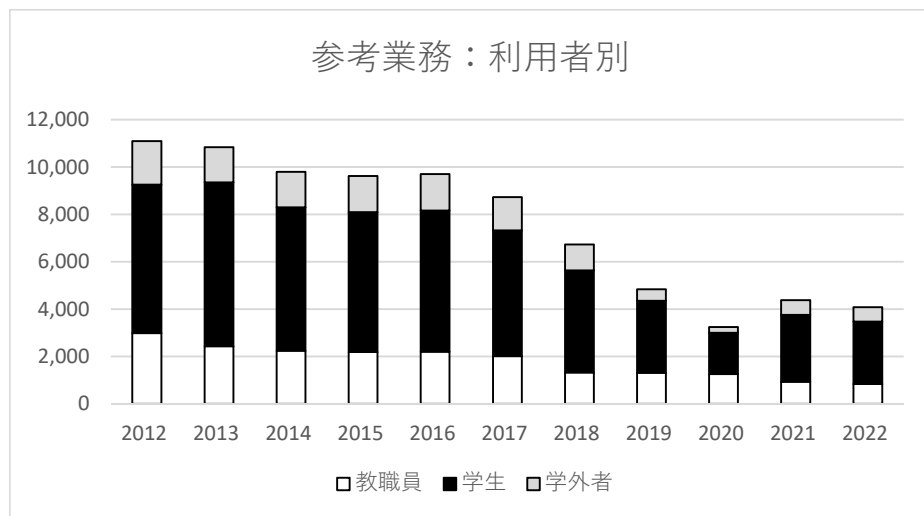


図6-1.参考業務（利用者別）

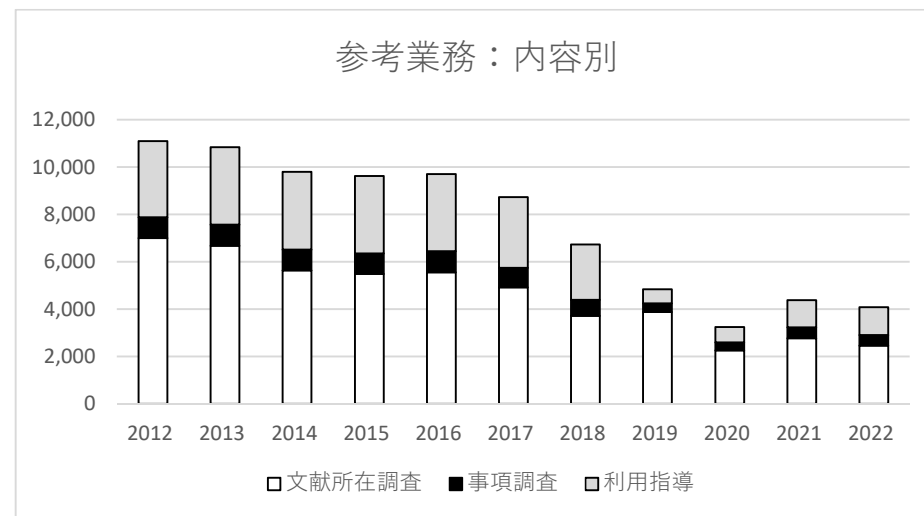


図6-2.参考業務（内容別）

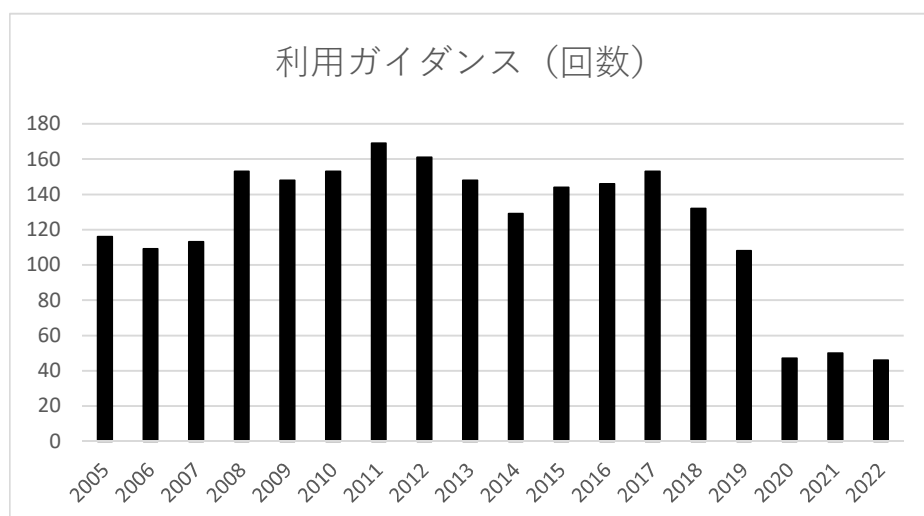


図6-3.利用ガイダンス（回数）

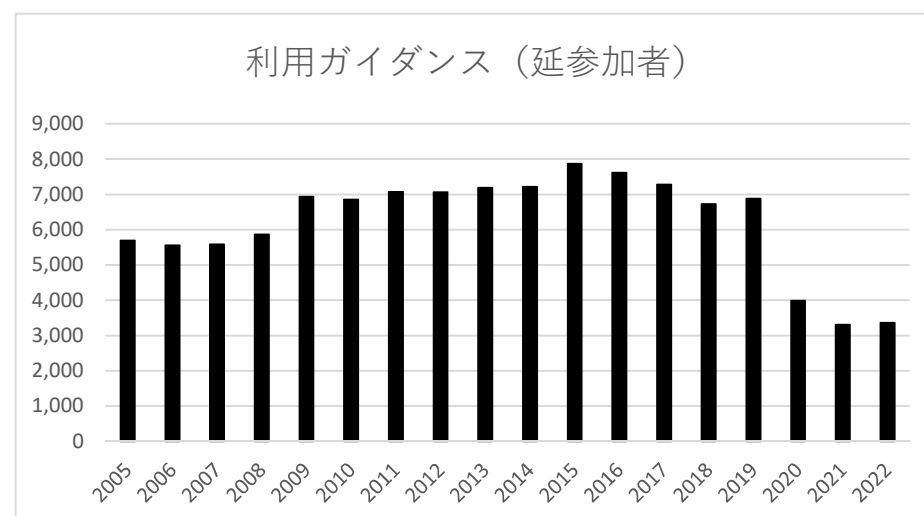


図6-4.利用ガイダンス（延参加者）

2-6-4. 企画展示

図書館の所蔵する多様な蔵書の利用を促進するため、様々な切り口で企画展示をおこなっている。2022年度に各館でおこなった企画展示の内容は次の通り。

- ・西図書館 第25回小展示「いつもそばに君がいる～イヌとネコの魅力～」
(7/26～11/24)
- ・霞図書館 第47回企画展示「寒さに負けない、身体を作ろう！」(12/7～3/31)
- ・東千田図書館 第11回企画展示「未知との出会い」(4/8～7/31)

2-6-5. 学生協働 (HULS はるす)

HULS (Hiroshima University Library Supporter) は「図書館を人と人との架け橋に」をモットーに2015年度から活動している広島大学図書館の学生サポーターである。活動内容は、選書(図書館に置く本の選定)、小展示、オープンキャンパスイベント、ブックパーティ(読書会)ほか、職員と協力して活動をおこなっている。2022年度の活動は次の通り。

- ・全国大学ビブリオバトル2022地区予選 in 広大
- ・中央図書館 HULS 第48回小展示「海の本を読んで涼もう！」(7/22～11/30)
- ・中央図書館 HULS 第49回小展示「熱狂! サッカーW杯特集」(2/3～3/31)
- ・西図書館 HULS「特別企画! 第12回広大生が選んだ本」(12/19～4/27)

3. 研究支援

3-1. 電子的学術情報資料の整備

2021年3月12日の役員会で第4期中期目標期間（2022～2027年度）における「電子的学術情報資料の整備について」が承認された。また、「全学研究用」の資料の整備について、2020年9月に設置した広島大学電子ジャーナル等整備検討ワーキングで2022年2月までに9回にわたって議論をおこなった。

2022年度は、1月以降の急激な円安（1月平均1ドル116円→8月平均136円→10月平均148円）のため購読タイトルの見直しが急務となり、9月に全学教職員を対象としたアンケート調査を実施し、これに基づいて見直し案を作成した。その後、幸いにも特別な予算措置がなされ、2023年に向けては購読規模を維持することができた。

全学研究用の電子的学術情報資料は、次の区分に分けて整備している。

- A1) 全分野を網羅する主要学術出版社の電子ジャーナルパッケージ
- A2) 全分野を網羅する総合的な文献情報データベース、ポータルサイトなど
- A3) 人文科学、社会科学、理工学、生命科学の各分野共通に、特定部局を超えて広く利用される電子ジャーナルパッケージ、文献情報データベース及び全文データベースなど
- A4) その他、大学として必備であると判断したトップジャーナルなど

全学研究用・電子的学術情報資料

	区分		分野	パッケージ名など
1	EJ	A1	総合	Elsevier Science Direct
2	EJ	A1	総合	Oxford University Press
3	EJ	A1	総合	SpringerLINK
4	EJ	A1	総合	Wiley Online Library
5	EJ	A3	化学	ACS(American Chemical Society)
6	EJ	A3	物理	AIP(American Institute of Physics)
7	EJ	A3	物理	APS(American Physical Society)
8	EJ	A3	科学	arXiv
9	EJ	A3	生命科学	Cell Press
10	EJ	A3	人文・社会科学	JSTOR Art & Science
11	EJ	A3	数学・統計学	JSTOR Mathematics & Statistics
12	EJ	A3	医学	LWW Fixed 50
13	EJ	A3	生命科学	Nature 関連誌等（生命科学）
14	EJ	A3	理工	Nature 関連誌等（理工学）
15	EJ	A3	数学	Project Euclid

16	EJ	A3	化学	RSC(Royal Society of Chemistry)
17	EJ	A3	物理	SCOAP3
18	EJ	A3	生物	UniBio Press
19	EJ	A3	物理	日本物理学会欧文誌
20	EJ	A3	医学	メディカル・オンライン
21	EJ	A4	科学	Nature 本誌
22	EJ	A4	科学	Science
23	DB	A2	総合	Academic Search Complete
24	DB	A2	総合	InCites Journal & Highly Cited Data
25	DB	A2	総合	Proquest Dissertations & Thesis
26	DB	A2	総合	SFX
27	DB	A2	総合	Web of Science
28	DB	A3	法律	Beck-Online
29	DB	A3	経済・経営	Business Source Complete & Econlit with Full Text
30	DB	A3	教育	ERIC
31	DB	A3	科学	JDreamIII
32	DB	A3	数学	MathSciNet
33	DB	A3	言語・文学	MLA International Bibliography
34	DB	A3	心理	PsycINFO & PsycARTICLES
35	DB	A3	化学	SciFinder-n
36	DB	A3	人文・社会科学	TOC Premier
37	DB	A3	法律	Westlaw Next
38	DB	A3	医学	医学中央雑誌
39	DB	A4	総合	CLOCKSS

なお、全学で導入している電子ジャーナル・データベース・電子書籍の利用可能タイトル数等は次の通り。

電子資料	電子ジャーナル（種類数）			電子書籍 タイトル数	データベース （種類数）
	出版社	その他	計		
国内	6	1,575	1,581	3,811	19
海外	7,410	13,692	21,102	5,278	25
計	7,416	15,267	22,683	9,089	44

3-2. 電子的学術情報資料の活用

電子ジャーナルの2022年の論文ダウンロード件数は1,829,826件、データベースの2022年の検索回数は776,633回だった。なお、電子資料の利用統計 COUNTER 5 では、Total_Item_Requests と Unique_Item_Requests の2種類の統計が入手可能となったが、これまでの統計との継続性を考慮し、Total_Item_Requests の統計を利用している。

データベースの検索結果等から電子ジャーナルのダウンロードページ等に自動的に案内するシステムとしてリンクリゾルバ（システム名はSFX）を導入している。データベースの検索結果表示画面等で「Find it Full Text @HU」ボタンを押すことで、文献の入手方法を提案する「中間窓」が表示され、そこに示された選択肢から適切な文献の入手方法を選択することができる。このシステムを活用することで、2022年度は112,907回の文献入手に関する問合せに対して自動的に対応したことになる。

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
中間窓表示回数	31,883	384,810	236,628	118,487	110,364	112,907
文献入手方法選択回数	20,420	224,551	141,789	71,366	60,646	57,654

3-3. 学術情報リポジトリ <https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/ja>

大学の教育研究成果を広く公開するため、学術情報リポジトリを2006年10月6日に正式公開した。2013年度以降、博士論文のインターネット公表が義務化されたことに伴い、学術情報リポジトリに収録することになった。2017年度には広島大学オープンアクセス方針を策定している。2022年度末現在の収録数及び2022年度の増加数は次の通り。紀要論文が全体のほぼ2/3を占めている。

なお、2014年10月にシステムを更新したこと、更新に際して教育研究成果物に特化するため、特殊コレクション類を除外したことにより登録数が大きく減少した。また、ロボットによるダウンロード数を除去したため、ダウンロード回数も大きく減少した。

収録数	計	学術雑誌 論文	学位論文	紀要論文	会議発表 論文	会議発表 資料	図書
累計	35,758	6,834	3,806	22,917	356	414	341
増加数	1,405	99	373	888	2	2	10

収録数	テクニカル ポート	研究報 告書	一般雑 誌記事	プレパ リ ント	教材	デー タ・デ ータベース	ソフトウェア	その他
累計	3	457	129	11	91	32	0	367
増加数	0	8	6	0	1	15	0	1

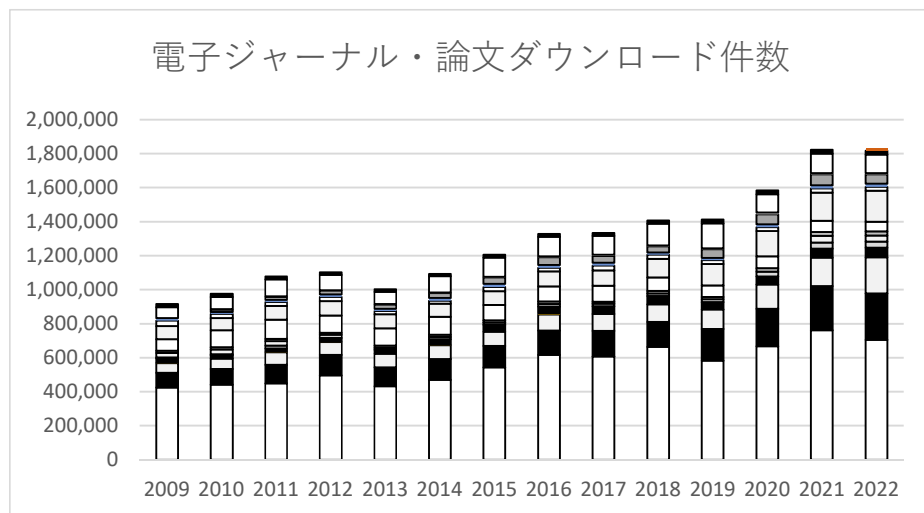


図7-1.電子ジャーナル・論文ダウンロード件数

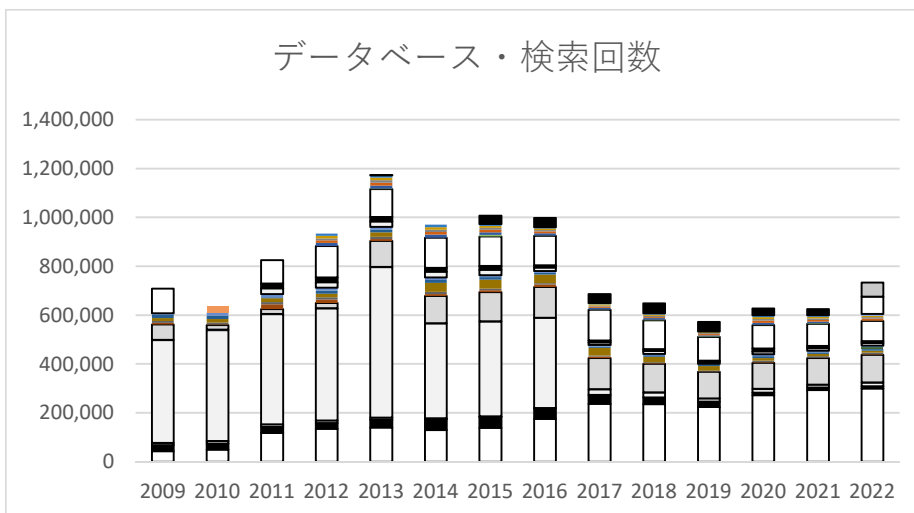


図7-2.データベース・検索回数

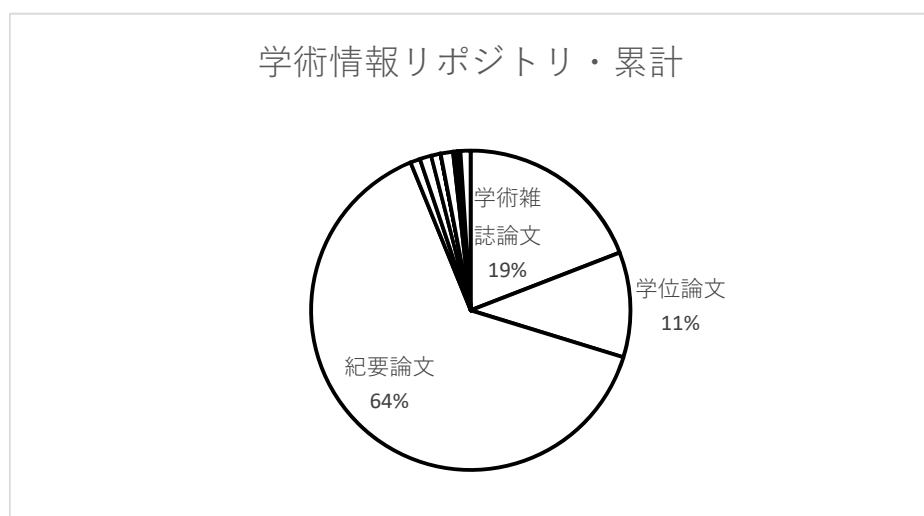


図7-3.学術情報リポジトリ 累計収録数

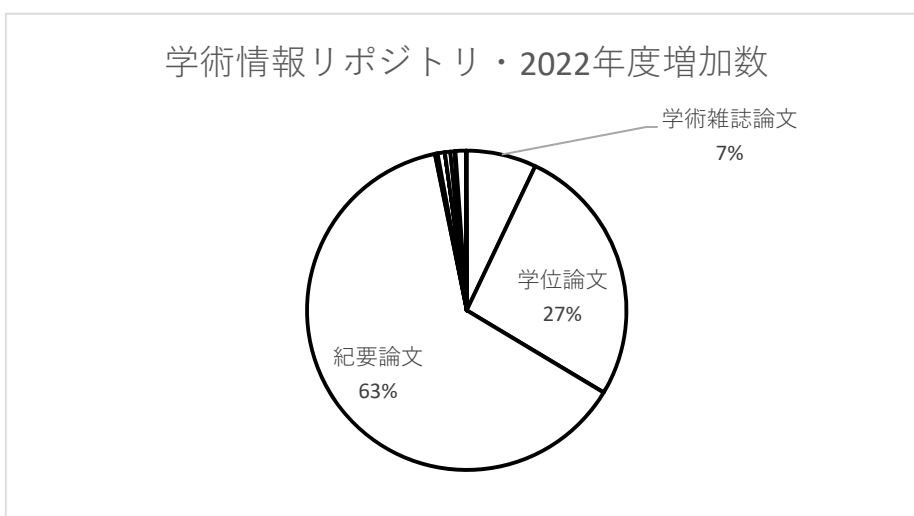


図7-4.学術情報リポジトリ 増加数

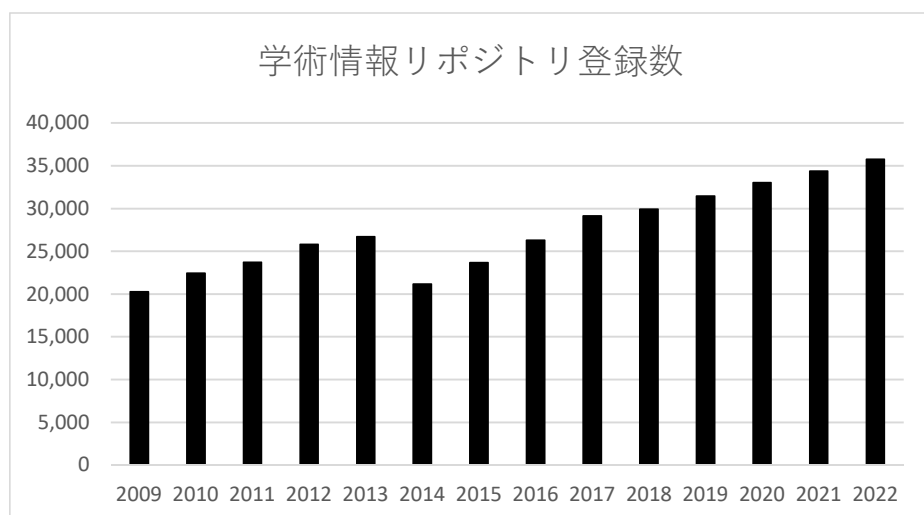


図7-5.学術情報リポジトリ 登録累計数

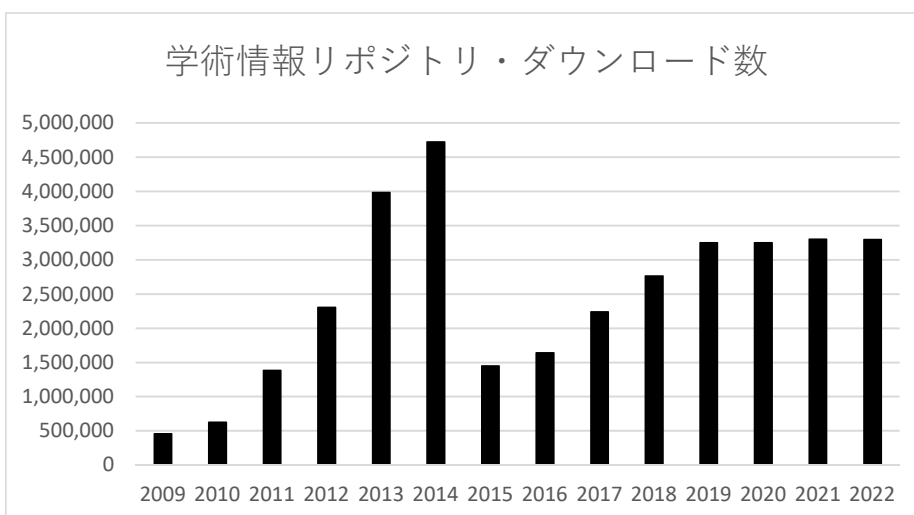


図7-6.学術情報リポジトリ ダウンロード回数

3-4. 広島大学出版会 <https://www.hiroshima-u.ac.jp/press>

広島大学出版会は、本学における教育研究の成果の社会に対する普及を図るとともに、これをわかりやすい形に変えて社会に提供することにより、学術文化の振興に寄与することを目的に、学術書・教科書・教養書等を刊行している。

既刊 42 冊。最寄りの書店（地方・小出版流通センター扱い）、Amazon、広島大学消費生活協同組合でも取り扱っている。また、一部の書籍は Maruzen eBook Library, KinoDen で利用できる。

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
刊行点数	4	1	1	1	2	7	4

3-5. ライティングセンター (WRC) <https://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc>

ライティングセンターは、学部生から大学院生・教員まで、段階に応じたアカデミックライティングスキルの向上を支援することにより、本学の教育・研究の総合的な機能強化を実現するために中央図書館 1F に設置されている。2022 年度はオンラインでライティング指導をおこなったほか、多様なワークショップをおこなっている。

3-5-1. ライティング相談

大学院生のライティングチューターが日本語と英語の学術文章（レポートや授業課題、卒業論文、修士論文、博士論文等）を作成するための相談に応じている。5 月から対面での相談を再開した。

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
件数	1,444	1,041	545	85	124	177

3-5-2. 研究力強化に資する英文校正費一部助成制度

原則として Web of Science Core Collection, Scopus に収録されているジャーナル等への投稿済英語論文の英文校正費を半額助成（上限 3 万円）している。

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
件数	334	310	427	573	564	495
総額	6,935,993	6,015,018	7,903,966	11,174,855	10,996,567	10,490,392
(平均)	20,766	19,403	18,510	19,502	19,497	21,193

3-5-3. 学内発行雑誌の英文抄録校正費補助

人文社会科学系の研究成果の発信を主目的として、学内発行雑誌掲載論文の英文抄録と英文タイトル作成に係る校正費を全額補助している。校正費を補助した学内発行雑誌は広

島大学学術情報リポジトリから英文抄録を公開している。なお、本事業は2022年度末で終了することになった。

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
件数	148	140	118	122	155	125
総額	222,000	210,000	185,634	136,493	170,057	144,477
(平均)	1,500	1,500	1,573	1,119	1,097	1,156

3-5-4. 英語論文作成相談

ライティングセンター専任教員と、ライティング・アドバイザー・フェローが、英語学術論文や学会抄録を作成するための相談に応じている。

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
件数	129	182	437	482	419	431

3-5-5. セミナー・ワークショップ

様々なテーマでセミナー・ワークショップをおこなっている。

	2020	2021	2022
延参加者数	670	547	1,155

セミナー・ワークショップの内容 (2022年度)	延参加者数	摘要
研究力分析ツール SciVal 講習会	118	日本語 100+英語 18
若手研究者のための英語論文執筆セミナー (全3回)	539	日本語 389+英語 150
科学論文の書き方 (全5回)	152	
データ分析から研究論文執筆まで: 専門家を納得させるデータ分析と見せ方	34	
英語で出版を目指す研究者にとっての機械翻訳活用法	47	
ハゲタカジャーナルに注意! オープンアクセスジャーナル投稿ガイドライン	58	日本語 42+英語 16
研究英語論文の書き方-初心者のための5ステップ(全3回)	177	
論文投稿前最終修正におけるポイント~査読者からのアドバイス~	30	

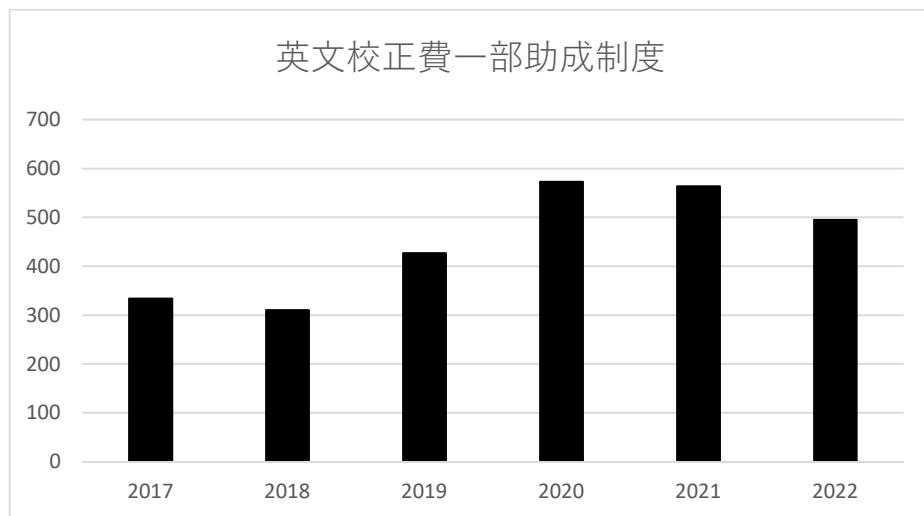


図8-1.ライティングセンター 英文校正費一部助成制度

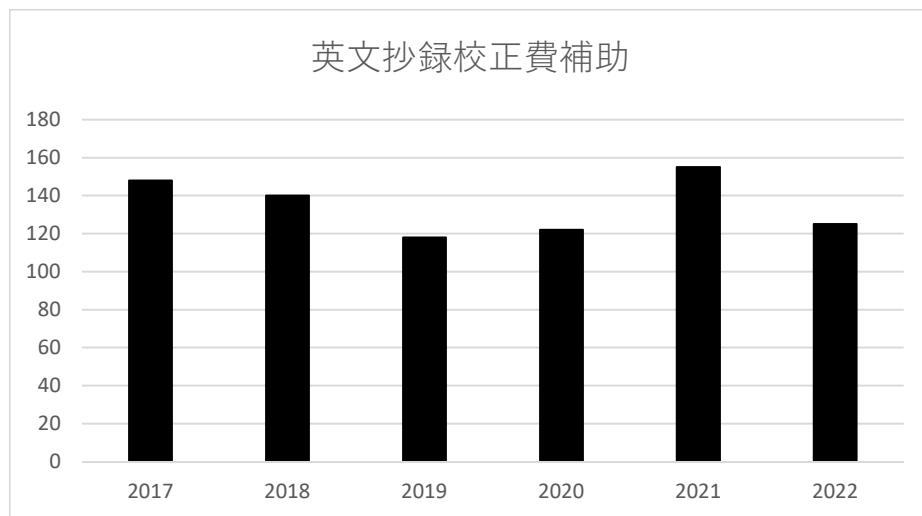


図8-2.英文抄録校正費補助

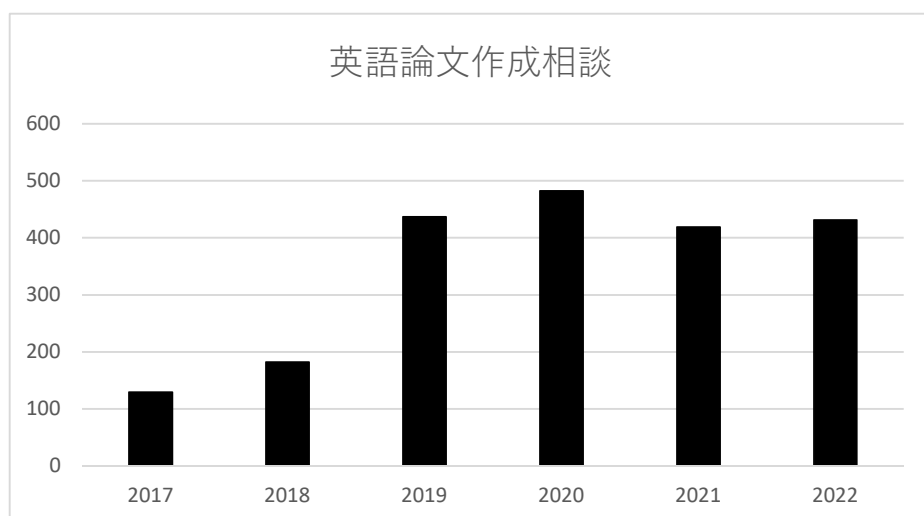


図8-3.英語論文作成相談

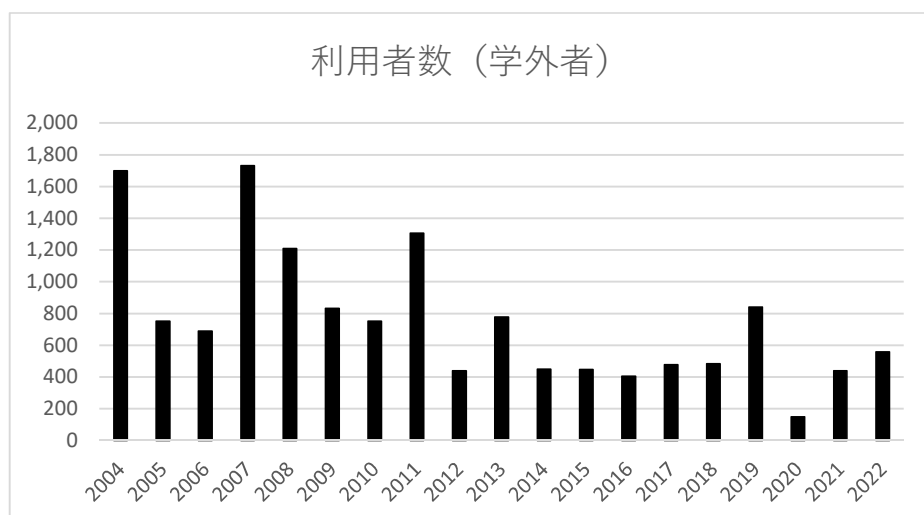


図8-4.利用者数 (学外者)

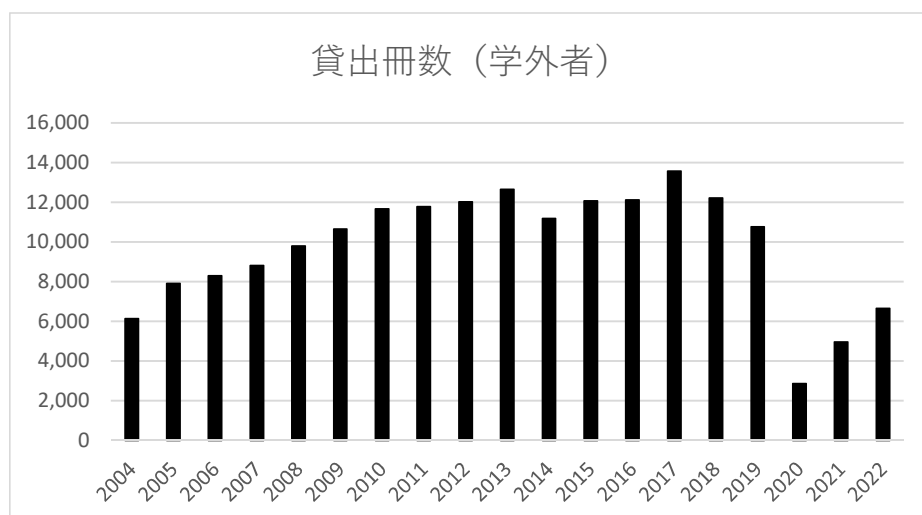


図8-5.貸出冊数 (学外者)

4. 社会貢献

4-1. 学外者の利用

2021年度の学外者の利用登録者数は439名、貸出冊数は4,958冊であった。新型コロナウイルス感染症の流行防止のため、大学の方針に基づき、学外者の利用を予約制とせざるを得ないため、利用が大きく減少している。

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
利用登録者数	477	483	839	148	439	558
貸出冊数	13,569	12,221	10,765	2,870	4,958	6,651

4-2. デジタルアーカイブ

貴重資料の保存と利用を両立するためデジタルアーカイブを構築し公開している。主な資料は次の通り。なお、利用統計はウェブサイトの利用統計と同様の理由により、一部を除き取得していない。中国五県土地・租税資料文庫の利用統計は2022年度から取得していない。

デジタルアーカイブの利用	2019	2020	2021	2022
教科書コレクション	211,614	2,131,913	1,294,323	68,774
原爆被爆関連資料 DB	29,126	14,749	9,231	52,579
中国五県土地・租税資料文庫	8,402	1,483	933	-

・広島大学図書館デジタルアーカイブ <https://dc.lib.hiroshima-u.ac.jp/da/ja>

国際規格 IIIF に対応したデジタルアーカイブ。2022年3月現在、主に室町時代後期から江戸時代中期にかけて製作された、絵入りの写本である奈良絵本を公開している。

・教科書コレクション

広島大学図書館に所蔵されている教科書の中から、江戸時代の寺子屋で使用された「往来物」から1951（昭和26）年までのものを画像化して公開している。約5,600冊を収録。

・原爆被ばく関連資料データベース

広島大学原爆放射線医科学研究所が所蔵する原爆・被ばくに関する次の資料を電子化している。米国陸軍病理学研究所(AFIP)が収集した病理学写真等、広島大学原爆放射線医科学研究所附属国際放射線情報センターが所蔵する原爆・被ばく関連の図書・雑誌の書誌情報、原爆被爆物理試料データ、米国及び旧ソ連核実験実施記録データ。

・中国五県土地・租税資料文庫（広島県分）

広島大学図書館で収蔵する「中国五県土地・租税資料文庫」の中から広島県関連の資料を電子化して公開している。11月30日から IIF に対応した。

4-3. 地域・国際交流プラザ（中央図書館）

中央図書館 1F に 1)広島大学の活動及び歴史の紹介、広報、2)広島大学との交流を目的とした生涯学習活動等の発表の場として、地域・国際交流プラザを設置している。2022年度は次の展示をおこなった。

- ・アクリル水彩同好会「新歓展」(4/28～5/31)
- ・文書館オブジェ「あの日」(8/4～8/19)
- ・スロヴェニアの作家・世界旅行家アルマ・M・カルリン特別展(11/4～11/17)
- ・写真映像研究会「写真展示 大げさな猫／モノクロームの軌道」(1/30～2/10)
- ・アクリル水彩同好会「卒展」(2/13～2/24)
- ・書道部「盡墨展」(3/6～3/10)

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
展示回数	7	11	12	0	2	6

4-4. 講演会

地域貢献事業の一環として令和4年度広島市立図書館・広島大学図書館連携講演会を2023年2月26日に開催した。

講師：船田善之先生（人間社会科学研究科）

演題：「モンゴル帝国のターニング・ポイント：オゴデイとクビライ」

4-5. その他

- ・第11回大学図書館学生協働交流シンポジウム「ウィズコロナ時代の学生協働～会える時も会えない時も～」をおこなった(10/24)。
- ・全国大学ビブリオバトル2022地区予選 in 広大をおこなった(10/29)。

5. 管理運営等

5-1. 組織運営

図書館運営会議で図書館に係る次の事項を審議している。

- (1) 管理運営の基本方針に関する事
- (2) 事業計画に関する事
- (3) 学術情報資料の選定及び整備に係る方針に関する事
- (4) その他図書館の運営に関する事

また、本学に必要な学術情報資料の選定をおこなうため、図書館運営会議に次の部会を設置している。

- (1) 人文・社会科学系専門部会
- (2) 教育科学系専門部会
- (3) 自然科学系専門部会
- (4) 生命科学系専門部会
- (5) 資料選定事務部会

図書館に係る日常業務は図書館部図書学術情報企画グループ及び図書学術情報普及グループで対応し、各担当だけでは対応できない業務に対して7つのWGを設置している。判断を要する事項はGL打合せ(週1回開催)、館長打合せ(週1回開催)で協議し、必要に応じて理事打合せ(不定期)をおこなうことで情報共有を図っている。また、図書館部内の情報共有を図るため、各グループ内の打合せ(週1回開催)や主査打合せ(月1回開催)をおこなっている。

5-2 図書館運営会議

2022年度の図書館運営会議の議事は次の通り。

- ・令和4年度第1回図書館運営会議 2022年6月14日

- 協議事項
1. 令和4年度計画について
 2. 令和3年度決算案について
 3. 令和4年度予算案について

- 報告事項
1. 東千田図書館改修について

- ・令和4年度第2回図書館運営会議(メール会議) 2022年9月13日~9月14日

- 協議事項
1. 電子的学術情報資料の見直しについて

- ・令和4年度第3回図書館運営会議(メール会議) 2022年12月26日~2023年1月17日

- 協議事項
1. 広島大学図書館規則の改正について

・令和4年度第4回図書館運営会議 2023年3月20日

- 協議事項 1. 広島大学図書館運営会議部会内規の改正について
- 2. 令和5年度教育用図書購入費配分について
- 報告事項 1. 令和4年度部局等における年度計画について
- 2. 電子的学術情報資料見直しについて
- 3. 東千田図書館改修について
- 4. 令和4年度の図書館活動について
- 5. 令和3年度年次報告書について
- 6. 図書館利用者アンケート結果について

5-3. 予算決算

2021年度の予算決算は別表の通り。運営費交付金の減額に伴い各科目・事業の予算とも減額されており、厳しい状況が続いている。運営費では、備品費・消耗品費・その他の経費を節約することで、施設保守費、委託費（蔵書点検、草刈など）を捻出する形となっている。

電子ジャーナル等経費は図書館予算の76%を占めている。電子的学術情報資料（電子ジャーナル・データベース等の経費）の第4期中期目標期間の上限額が5.3億円とされたことから、継続的に価格が上昇している電子的学術情報資料の第4期中の大幅な見直しが不可避となっている。

2021年10月1日から中央図書館1F新聞コーナーのネーミングライツを締結した（JCS Lounge 株式会社日本クライメイトシステムズ・2021/10/1～2024/9/30）。

5-4. 広島大学図書館活動助成金

広島大学図書館活動助成金は、図書館の学術資料の整備や図書館の地域住民の方々へのサービスの一層の充実を図るため、2005年2月に創設された寄附金制度である。2017年度に本助成金の寄附の種類を見直し、図書館設備にも利用できるようになった。本学学生及び教職員の教育・研究を支援するとともに、学術資料の整備や地域住民の方々へのサービスを充実させ、地域社会の生涯学習ニーズに応えていきたい。

寄附金の状況、主な事業の実施状況は、毎年、実績報告書を作成し、ウェブサイトから公開している。https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=12042

2022 年度予算・決算

単位：千円

	科目・事業	当初 予算	追加 配分	予算 総額	執行額	残額	摘要
資料費	教育用図書購入費	84,688	-25	84,663	82,291	2,372	
	電子ジャーナル等経費	504,393	49,942	554,335	553,395	940	
	小計	589,081	49,916	638,997	635,686	3,312	
運営費等	図書館関係経費	20,135	34	20,169	18,933	1,236	
	備品	481	0	481	741	-260	
	消耗品	3,298	34	3,332	3,478	-146	
	施設保守費	4,916	0	4,916	4,457	459	
	修繕費	4,627	0	4,627	2,682	1,945	
	委託費	1,630	0	1,630	2,475	-845	蔵書点検ほか
	清掃費	1,186	0	1,186	1,350	-164	
	貸借料	1,851	0	1,851	1,994	-143	複写機ほか
	その他	2,146	0	2,146	1,755	391	
	広報関係経費	0	149	149	36	112	ネーミングライツ
	教育研究設備費（借料 等）	20,736	2	20,738	20,736	2	図書館システム
	自動書庫年間保守	6,127	689	6,816	6,807	10	
	カフェ運営委託業務	566	51	617	559	59	la la la café
	リポジトリ事業	468	41	509	66	443	
出版会事業経費	990	3,359	4,349	2,759	1,590		
小計	49,022	4,326	53,348	49,895	3,452		
寄附金	図書館活動助成金	0	2,655	2,655	40	2,615	
合計		638,103	56,898	695,001	685,621	9,379	

※百の位を四捨五入しているため、個々の数字の合計が一致しない場合がある。

5-5. 職員数

運営費交付金の減額等に伴い職員数は減少を続けている。2022年度の定員内職員数は40年前の半数以下となっている。図書館業務の電算化に1972年から取り組むなど、これまで業務効率化のために工夫を重ねてきたが、電子的学術情報資料の増加、アクティブラーニングスペースの整備、学術情報リポジトリの構築、情報リテラシー教育の推進、ライティング

センターの運営など業務内容は拡大しており、図書館利用者へのより細やかなサービスの提供や目録の遡及入力が進捗が遅延するなど課題となっている。

	1971	1981	1991	2001	2011	2021	2022
定員内	50	56	53	42	35	27	24
契約一般職員等	10	28	28	26.3	24	25.2	27.7

※契約一般職員等は、勤務時間数が多様であるため、年間実働時間の合計 1,500 時間を 1 人として換算（日本図書館協会の換算方式と同じ）

5-6. 施設設備

図書館には自動書庫・電動式集密書架・防犯カメラ・入退館システムなど、様々な施設・設備がある。これらの施設・設備は高額であるため、故障した場合に簡単に更新するというわけにもいかない。耐用年数や故障等の発生状況を適宜把握し、適切にメンテナンスしていくことで長期的な利用を図るとともに、計画的な更新計画を策定していく必要がある。

5-7. 他の図書館等との連携

- ・国立大学図書館協会：広島大学は国立大学図書館協会の理事館をつとめるとともに資料委員会電子資料小委員会に委員を 2 名選出している。
- ・国立大学図書館協会中国四国地区協会：広島大学は中国四国地区（加盟 10 館）の地区連絡館を担っている。
- ・中国四国地区大学図書館協議会：1953 年設立。中国四国地区の大学図書館等が加盟している（加盟 65 館）。広島大学は幹事館を担っている。
- ・広島県大学図書館協議会：1970 年設立。広島県下の大学・短期大学及び高等専門学校図書館を会員とする（加盟 25 館）。広島大学は代表幹事館を担っている。
- ・日本医学図書館協会：1927 年設立。国公立の医学・歯学・健康科学・生命科学領域の専門図書館を対象としており、霞図書館が入会している。
- ・法律図書館連絡会：1956 年設立。法律分野の各会員館が法律図書館としての機能をより充実・発展させることを目的として設置されており、東千田図書館が入会している。
- ・JUSTICE 運営委員会委員を 1 名選出している。
- ・JPCOAR 運営委員会委員を 1 名選出している。
- ・これからの学術情報システム構築検討委員会：システムワークフロー検討作業部会委員を 1 名選出している。
- ・広島県立図書館との間で相互利用を実施
- ・広島市立図書館との間で相互利用、連携講演会を実施
- ・東広島市立図書館との間で相互利用を実施

6. その他

6-1. 2022年度の主な動き

6-1-1. 新型コロナウイルス感染症の流行防止

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の流行に対応した臨時休館・時間外開館の中止をおこなうことなく、規則通りの時間外開館を実施した。2023年3月13日にマスクの着用が個人の判断となり、5月8日に感染症法上の分類が2類から5類へ移行したことに伴い、図書館サービスは概ね流行前の内容に戻った。今後の参考とするため2020年以降の対応（概要）を以下の通り記録しておく。

○対応の基本方針

図書館は、政府の方針、広島県の対応方針に基づいて策定された広島大学の行動指針に基づいて対応した。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令状況等により、開館時間・利用可能座席数・図書館サービスの内容の見直しを細かくおこなった。

○経過

- ・ 2020.2.28 図書館ウェブサイトに対応方針を掲載
- ・ 2020.4.3 地域・国際交流プラザの利用を停止
- ・ 2020.4.10 la la la cafe を休止
- ・ 2020.4.17 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う図書返却期限の延長
- ・ 2020.4.22～5.31 臨時休館
- ・ 2020.5.13～5.29 図書宅配貸出を実施（上限3冊・無料）
- ・ 2020.6.1 開館（閉館時間は16:30～17:00）。入退館方法の変更。
- ・ 2020.6.16 閲覧席の一部利用再開
- ・ 2020.7.7以降 中央図書館の開館時間延長と段階的開館時間延長のお知らせ
- ・ 2020.10.1 土日開館再開
- ・ 2021.4.8 la la la cafe の再開
- ・ 2021.4.8 （霞図書館）霞地区構成員限定24時間開館再開
- ・ 2021.4.15 学外者（一般利用者）の利用再開（要事前申請）
- ・ 2021.6.18 教員の授業でのグループ閲覧室の利用再開（要事前予約）
- ・ 2021.7.5 地域・国際交流プラザの受付再開（学内者限定）
- ・ 2022.4.1 2022年度はほぼ規則通りに時間外開館を実施
- ・ 2023.3.13 「マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本」
- ・ 2023.4.4 各図書館の利用座席数を一部を除き通常期の数へ変更
- ・ 2023.5.8 感染症法上の分類が2類から5類へ移行。学外者の事前申込み制を中止

○利用可能座席数の変更

○中央図書館

・約 120 席 → 約 160 席(2020.6.26) → 約 240 席(2020.7.3) → 約 270 席(2020.8.6)
→ 約 310 席(2020.10.8) → 約 320 席(2020.10.26) → 約 330 席(2021.1.28)
→ 約 470 席(2021.4.1) → 約 524 席(2021.11.17) → 約 540 席(2022.7.27)
→ 822 席(2023.4.4)

・期間限定でライブラリーホールを開放 (2021.1.28~2021.4.1)

○西図書館

・約 200 席 → 約 270 席(2021.11.30) → 805 席(2023.4.4)

○霞図書館

・約 90 席 → 約 160 席(2020.9.28) → 約 190 席(2021.4.5) → 約 215 席(2021.11.16)
→ 約 240 席(2022.5.30) → 385 席(2023.3.20)

6-1-2. 東千田図書館の改修 (2022 年 8 月~2023 年 3 月末)

○主なリニューアル箇所

- (1) 南側旧図書館エリアを 1 階全体へ広げるための全面的な改修 (685 m²→1,610 m²)
- (2) 中央図書館および社会科学研究科資料室より法学系の図書と雑誌の一部を移管
- (3) 集密書架・固定書架の購入により資料収容力の増加
- (4) ブラウジングコーナーで新着雑誌・新聞を気軽に読んでもらうことを想定し机を購入

○経過

・2022.7.8~8.6 特別貸出実施(資料の長期貸出及び貸出冊数増加措置:教職員 100 冊、その他の利用者 50 冊)

・2022.8.7~8.16 改修工事に伴う事務室移転や夏季休業につき休館

・2022.8.17~ 特別開館実施・図書館入り口を移転

・開館時間 8.17~10.2 平日 8:30-16:30、土日祝 休館

10.3~4.2 授業期・平日 8:30-22:00、

休業期・平日 8:30-21:00、土日祝 休館

・特別開館のサービス内容: 文献複写・図書借用の受け渡し、予約・他館からの取り寄せの受け渡し、資料のコピー、新着資料(図書・雑誌)の閲覧・貸出、新聞の閲覧(S棟ロビー)

*特別開館期間中は閲覧席の利用不可

・2023.1.10 図書の閲覧・貸出を出納制で再開

・2023.4.3 リニューアルオープン

■東図書館・西図書館・霞図書館の改修の記録（2019年度）

2018年度に開設された情報科学部及び総合科学部国際共創学科への対応のため、西図書館及び東図書館の機能見直しを2017年度より検討されてきた。

2017年度末には、西図書館3階に16席の語学自習室及び第2オープンスペースに50席程度のグループディスカッションやアクティブラーニングができるエリアの整備が行われた。

東図書館に隣接する情報科学部では、高価なアプリケーションや特別な情報処理環境が必要な授業等が実施されていることから、情報科学部の年次進行に伴い、隣接地区に100台程度の端末室が必要になること、授業が行える設備が不足すること、アクティブラーニングの授業に対応した学習環境を整備することなどが必要であった。そこで、2019年度の改修では、東・西図書館において図書館及び情報メディア教育研究センターの機能を再整備することにより、上記の課題解決を図ることとなった。

霞図書館は、1981年の開館以降、2013年には「BIBLA Kasumi」を設置し、ラーニングコモンズの整備を行ってきたが、多様化する学習環境に対応するため、ゾーニングの見直しにより提供資料数や自学自習スペースの確保を図ることとなった。

- ・東図書館 2019.8.8-2020.5 下旬 閉館
- ・西図書館 2019.7月及び2020年3-4月 閉館
- ・霞図書館 2019.8.8-2020.5.8 に工事をおこなった。休館は2019.8.8-2019.9.1, 2019.12.28-2020.2.9 だけで、その他の期間は部分開館をおこなった。

■東図書館改修コンセプト

1. 保存書庫機能の整備
2. 情報メディア機能の整備
3. グループワークスタジオの整備
4. アカデミックな交流拠点となる環境の整備

■西図書館改修コンセプト

1. 新学部・新学科設置に伴う学習環境の変化に対応した機能の整備
2. 東図書館の資料を一部移設し、教養課程用学習資料に加えて理工学系資料を整備
3. 映像音響設備を整備しグループ学習や講義に対応

■霞図書館改修コンセプト

1. 断熱材と空調機の改修による快適な学習空間の創出

2. 図書館スペースの見直しによる閲覧座席の増加
3. 集密書架の設置により収蔵力の大幅アップ
4. 24時間開館時も1階にある図書の利用・貸出が可能

6-1-3. 電子的学術情報資料整備（第4期中期目標期間：2022～2027年度）

2022年度は、1月以降の急激な円安（1月平均1ドル116円→8月平均136円→10月平均148円）のため購読タイトルの見直しが急務となり、9月に全学教職員を対象としたアンケート調査を実施し、これに基づいて見直し案を作成した。その後、幸いにも特別な予算措置がなされ、2023年に向けては購読規模を維持することができた。

6-1-4. デジタルアーカイブのIIIF対応

2022年3月16日に国際規格IIIF(International Image Interoperability Framework)に対応したデジタルアーカイブを構築し、「奈良絵本 室町時代物語」を旧デジタルアーカイブから移行した。また、2022年12月26日に「中国五県土地・租税資料文庫（広島県分）」を移行した。

6-1-5. 学術情報リポジトリのJPCOARスキーマ対応

学術情報リポジトリのメタデータの国際的な相互運用性を向上させるため、2023年2月に新たな国内標準のデータ形式であるJPCOARスキーマに対応した。

6-1-6. 図書館利用者アンケート調査の実施

2023年1月30日から2月28日にかけてウェブアンケートをおこなった。結果は以下のURLから公開している。

https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=3228

6-2. 理念と目標

広島大学図書館は、広島大学の建学の精神、理念5原則の下に図書館の理念と目標を定め、その下により具体的な組織目標、国立大学図書館協会ビジョン2025を参考に作成した組織目標の重点領域・目標・行動計画を定めている。

○広島大学 建学の精神「自由で平和な一つの大学」

○理念 広島大学は理念5原則の下、国立大学としての使命を果たします。

- ・平和を希求する精神
- ・新たなる知の創造
- ・豊かな人間性を培う教育
- ・地域社会・国際社会との共存

・絶えざる自己変革

○図書館の理念と目標（2006年3月 図書館長期ビジョン委員会）

・理念 Policies

広島大学図書館は、本学の建学の精神及び理念を実現するため、教育・研究を支援する基盤的組織として、図書・雑誌等の電子的資料を含む学術情報資源を収集・整理・保存し、学生及び教職員等の利用者に提供することを使命とする。

また、本学で生成される学術情報を国内外に発信することで、本学の教育・研究の進展に寄与し、その成果をとおして国内外、地域社会における学術研究の進展及び文化の振興に貢献する。

・目標 Goals

1. 利用し易い図書館を目指す。
2. 利用される図書館を目指す。
3. 学術情報の収集機能の一層の強化を図る。
4. 従来からの紙媒体による学術情報に加えて、電子ジャーナル等電子的学術情報を一層充実させ、ハイブリット・ライブラリを構築する。
5. 学生の自学自習活動のための快適でゆとりのある学習環境を提供する。
6. 電子的図書館機能の充実・強化を図る。
7. 学内で生成される研究成果情報を発信するポータル機能を担う。

○広島大学図書館の組織目標（2023年5月）

広島大学図書館は、大学の「学習センター」（学習／学修の場を提供する。予習・復習・課題の達成に必要な資料と支援を提供する）であり、「情報センター」（学生や教職員の情報ニーズに対応する。情報の収集・選択・活用・発信を支援する）である。

広島大学図書館は「利用される図書館を目指す」。

○組織目標の重点領域・目標・行動計画

重点領域 1. 知の共有：蔵書を超えた＜知識や情報＞の共有

目標 1-1. 教育研究成果等の発信

行動計画 1-1-1. 機関リポジトリ等の収録コンテンツの充実

行動計画 1-1-2. 広島大学出版会の充実

目標 1-2. 図書館資料の整備と利用のための保存

行動計画 1-2-1. 図書・雑誌等の整備

行動計画 1-2-2. EJ・DB・EB 等の整備

行動計画 1-2-3. 資料の保存・デジタル化

- 目標 1-3. 知識や情報の発見可能性の向上
 - 行動計画 1-3-1. メタデータの整備
 - 行動計画 1-3-2. 図書館システムの機能向上
- 重点領域 2. 知の創出：新たな知を紡ぐ〈場〉の提供
 - 目標 2-1. 知を創出する場の整備・機能向上
 - 行動計画 2-1-1. 物理的な場の整備
 - 行動計画 2-1-2. ネットワーク環境の整備
 - 行動計画 2-1-3. 利用者の安全安心の向上
 - 目標 2-2. 知を創出する場と支援の提供
 - 行動計画 2-2-1. 学習／学修の場と支援の提供
 - 行動計画 2-2-2. 教育の場と支援の提供
 - 行動計画 2-2-3. 研究の場と支援の提供
 - 行動計画 2-2-4. 交流の場と支援の提供
- 重点領域 3. 知の媒介：知の交流を促す〈人材〉の構築
 - 目標 3-1. 多様な人材との協働
 - 行動計画 3-1-1. 協働による〈知識・情報〉の構築
 - 行動計画 3-1-2. 協働による〈場〉の活性化
 - 目標 3-2. 図書館職員的能力向上
 - 行動計画 3-2-1. 図書館職員像及び職員育成方針の策定
 - 行動計画 3-2-2. 図書館職員的能力向上
 - 目標 3-3. 図書館組織の価値向上
 - 行動計画 3-3-1. 点検評価に基づく自己変革
 - 行動計画 3-3-2. 広報等による理解促進
 - 行動計画 3-3-3. 他機関等との連携

6-3. 歴代図書館長（「扱」は事務取扱）

1950(S25).3.2～1956(S31).3.31	古賀 行義（教育）	KOGA, Yukiyoshi
1956(S31).4.1～1959(S34).3.31	千代田 謙（文）	CHIYODA, Ken
1959(S34).3.31～1963(S38).3.31	土井 忠生（文）	DOI, Tadao
1963(S38).4.1～1966(S41).6.20	川村 智治郎（理）	KAWAMURA, Toshijiro
1966(S41).6.20～1966(S41).7.1	川村 智治郎（理）扱	KAWAMURA, Toshijiro
1966(S41).7.1～1969(S44).6.30	北林 琢男（政）	KITABAYASHI, Takuo
1969(S44).7.1～1971(S46).3.31	内海 巖（教育）	UTSUMI, Iwao
1971(S46).4.1～1972(S47).3.31	羽白 幸雄（教養）	HAJIRO, Yukio
1972(S47).4.1～1973(S48).3.31	前川 力（理）	MAEKAWA, Tsutomu
1973(S48).4.1～1975(S50).3.31	伊東 隆夫（文）	ITO, Takao

1975(S50).4.1～1978(S53).3.31	鳴海 元 (理)	NARUMI, Hajime
1978(S53).4.1～1980(S55).4.1	北村 由之 (経)	KITAMURA, Yoshiyuki
1980(S55).4.2～1982(S57).4.1	石田 寛 (文)	ISHIDA, Hiroshi
1982(S57).4.2～1984(S59).4.1	桑原 改造 (工)	KUWABARA, Kaizo
1984(S59).4.2～1985(S60).3.31	古田 敬一 (文)	FURUTA, Keiichi
1985(S60).4.1～1988(S63).3.31	岸本 幸次郎 (教育)	KISHIMOTO, Kojiro
1988(S63).4.1～1989(H1).3.31	八木 佐市 (法)	YAGI, Saichi
1989(H1).4.1～1991(H3).3.31	陣崎 克博 (総合)	JINZAKI, Katsuhiko
1991(H3).4.1～1993(H5).3.31	津留 宏道 (歯)	TSURU, Hiromichi
1993(H5).4.1～1995(H7).3.31	藤本 黎時 (総合)	FUJIMOTO, Reiji
1995(H7).4.1～1998(H10).3.31	前田 文之 (理)	MAEDA, Fumiyuki
1998(H10).4.1～2001(H13).3.31	位藤 邦生 (文)	ITO, Kunio
2001(H13).4.1～2004(H16).3.31	宮沢 啓輔 (生生)	MIYAZAWA, Keisuke
2004(H16).4.1～2005(H17).3.31	吉里 勝利 (理)	YOSHIZATO, Katsutoshi
2005(H17).4.1～2005(H17.5.20)	牟田 泰三 (理) 扱	MUTA, Taizo
2005(H17).5.21～2007(H19).3.31	位藤 邦生 (文)	ITO, Kunio
2007(H19).4.1～2007(H19).5.20	岡田 光正 (工) 扱	OKADA, Mitsumasa
2007(H19).5.21～2009(H21).3.31	田中 久男 (文)	TANAKA, Hisao
2009(H21).4.1～2011(H23).3.31	佐藤 正樹 (総合)	SATO, Masaki
2011(H23).4.1～2015(H27).3.31	富永 一登 (文)	TOMINAGA, Kazuto
2015(H27).4.1～2019(H31).3.31	寺本 康俊 (法)	TERAMOTO, Yasutoshi
2019(H31).4.1～2020(R2).3.31	古沢 修一 (生生)	FURUSAWA, Shuichi
2020(R2).4.1～2021(R3).3.31	岩永 誠 (総合)	IWANAGA, Makoto
2021(R3).4.1～2023(R5).3.31	棚橋 健治 (教育)	TANAHASHI, Kenji
2023(R5).4.1～	川島 優子 (文)	KAWASHIMA, Yuko

6-4. 沿革 (抄)

1902(M35)	広島高等師範学校図書館開設
1929(S4)	広島文理科大学設置により広島文理科大学附属図書館と改称
1945(S20)	原子爆弾被災 (建物および蔵書数 27 万冊のうち 19 万冊焼失)
1949(S24)	国立学校設置法の公布により、広島大学附属図書館と改称
1950-1961(S25-36)	この間、本館のほか、教育学部、同東雲分校、同三原分校、同福山分校、政経学部、工学部、水畜産学部、皆実分校(教養部)の 8 分館、医学部分館、理論物理学研究所分室、原爆放射能医学研究所分室を設置。(以後、統廃合を実施) 東千田地区に本館竣工(第 1 期) 第 2 期 1959 第 3 期 1962
1965(S40)	国際連合寄託図書館の指定 (～1986)

- 1970(S45) 経済協力開発機構(OECD)寄託図書館の指定（～1974）
- 1972(S47) 電算機による業務機械化開始
- 1979(S54) 学術文献情報サービス(HUNDRED)開始
- 1980(S55) 図書館業務システムを自主開発
- 1982(S57) 工学部分館が東広島市へ竣工移転（統合移転の開始）
- 1987(S62) 学術情報センター（現国立情報学研究所）と接続、目録登録開始、
広島市立図書館との相互協力サービス開始
- 1992(H4) 東広島キャンパス中央図書館での業務開始
- 1993(H5) 西図書館竣工、広島県立図書館との相互協力サービス開始
- 1995(H7) 中央図書館竣工・移転記念式典開催
- 1996(H8) 附属図書館ホームページの公開、電子ジャーナル利用サービス開始
- 1998(H10) 東広島市立中央図書館と相互協力サービス開始
- 2001(H13) 芸予地震による附属図書館罹災
「斯波文庫漢籍目録」第36回国立大学図書館協議会賞を受賞
- 2002(H14) 広島大学附属図書館百周年記念式典開催
- 2004(H16) 国立大学法人化に伴う事務機構改革（「広島大学図書館」に名称変更）
- 2005(H17) フレンドリー利用者制度の運用開始、研究開発室を設置（～2013.3.31）、
フェニックス文庫、平和学コレクションコーナーを設置、地域交流プラザ
を開設
- 2006(H18) 「広島大学学術情報リポジトリ」公開
- 2009(H21) 総合博物館のサテライト館設置
- 2010(H22) BIBLA【中央図書館】オープン
- 2011(H23) 中央図書館で広島生協電子マネーの利用が可能になる
- 2013(H25) ライティングセンター開設
- 2014(H26) 自動書庫運用開始
- 2018(H30) 中央図書館1F 玄関ホールに la la la Cafe オープン、中央図書館で授業期
平日24時までの開館・第4タームから試験期平日の24時間開館を試行
（コロナ禍で中止）
- 2019(R1) 東図書館、西図書館、霞図書館改修
- 2020(R2) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施（～2023.5.8）
- 2021(R3) 霞図書館でクレジットカード等を利用したキャッシュレス決済を導入
- 2022(R4) 東千田図書館改修

運営委員 2 部長推薦 5 事務部員 3 計 10
 部長推薦・事務部会はともに若干名

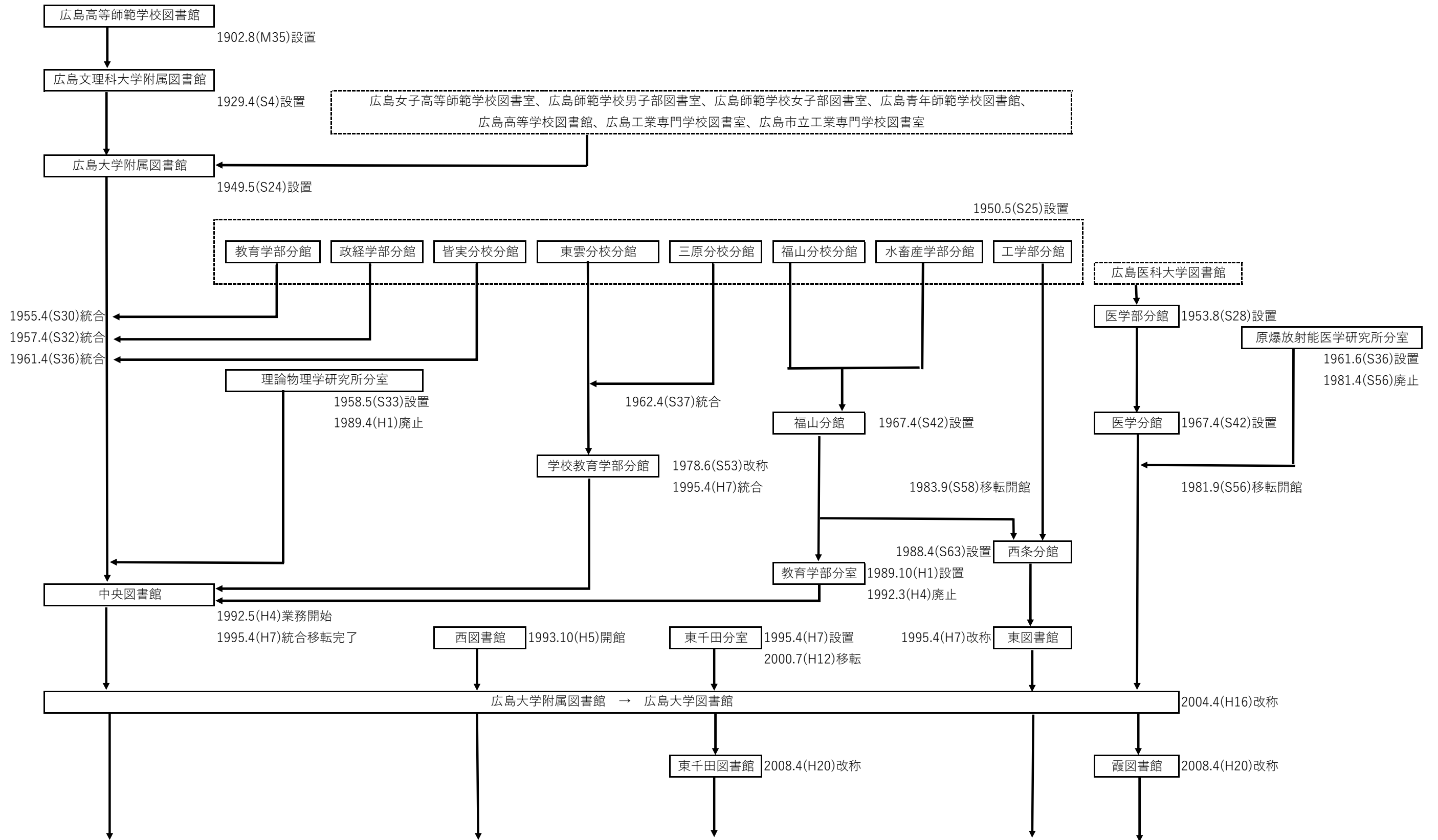
図書館 運営会議	8	人文・社会科学系専門部会	2	5	3	10
		教育科学系専門部会	1	4	3	8
		自然科学系専門部会	2	10	3	15
		生命科学系専門部会	1	6	2	9
		資料選定事務部会			13	13

図書館長

部長	GL	副GL	GL=グループリーダー	主査	主担当・グループ員	契約職員	計	
図書館部	1	1	1	図書館企画主担当	1	1	3	
				学術情報企画主担当	0	4	4	
				図書コレクション主担当	2	1	10	
				雑誌コレクション主担当	1	1	4	
	1	0	1	レファレンスサービス主担当	1	1	5	
				東広島地区フロアサービス主担当	中央図書館	1	1	5
					東図書館	0	0	0
					西図書館	0	2	7
				広島地区フロアサービス主担当	霞図書館	1	1	4
					東千田図書館	0	1	3
計	1	2	1	7	13	25	45	

WG	リーダー	サブリーダー	部会員	計	目的
資料管理・保存検討WG	1	3	5	9	適切な資料管理と保存・方針整備
広報・展示WG	1	1	8	10	Webサイト、SNS、企画展示等
図書館システムWG	1	1	7	9	システムの安定稼働・運用
学生サポーターWG	1	1	4	6	学生サポーターの活用・シンポジウム開催
防災・アクセシビリティWG	1	1	3	5	防災訓練、マニュアル整備、アクセシビリティ
75年史部局史編纂WG	1	1	3	5	広島大学75年史部局史編の編纂
東千田改修WG	1	1	7	9	東千田図書館改修

広島大学図書館の変遷



図書館年次報告

https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=32067

広島大学図書館

- ・ 中央図書館 〒739-8512 東広島市鏡山一丁目2番2号
tel.082-424-6214 fax.082-424-6204
- ・ 東図書館 〒739-8512 東広島市鏡山一丁目4番5号
tel.082-424-6225 fax.082-424-6222
- ・ 西図書館 〒739-8512 東広島市鏡山一丁目7番2号
tel.082-424-6229 fax.082-424-6223
- ・ 霞図書館 〒734-8552 広島市南区霞一丁目2番3号
tel.082-257-5902 fax.082-257-5904
- ・ 東千田図書館 〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目1番89号
tel.082-542-6972 fax.082-542-6974
- ・ 図書館ウェブサイト <https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/>
- ・ 図書館 X https://twitter.com/HiroshimaU_Lib